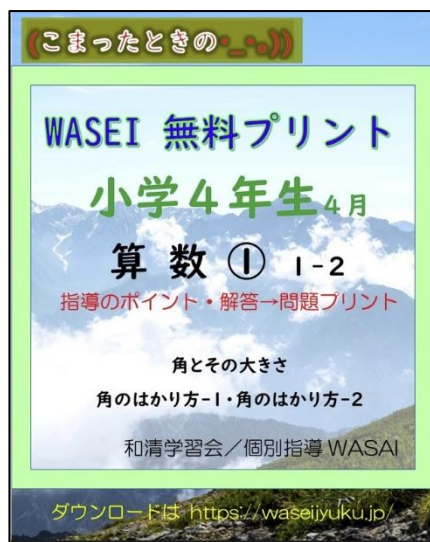
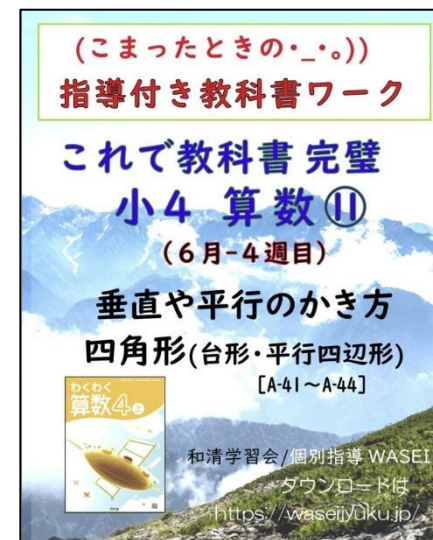


指導付き 教科書ワーク

小4 算数 解答と解説



① 4月 - 1週目



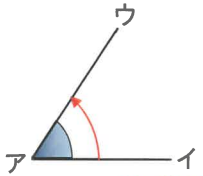
② 6月 4週目

和清学習会／個別指導 WASEI

1 基本 角とその大きさ 角のはかり方 - 1 学習日 /

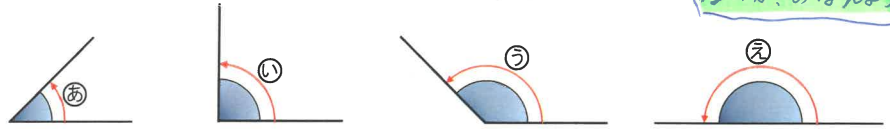
1 にあてはまることばや記号や数字をかきましょう。(5点×10)

(1) 直線が辺アイの位置からアウの位置までまわってできる形を **角** といい、その大きさを **角度** といいます。

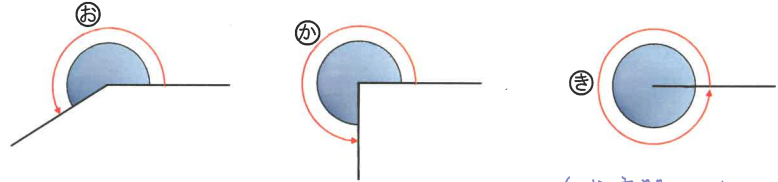


「角」の字を「角」としないように!

(2) 下の㉔～㉗の角のうち、直角は **い**、直角2つ分の角は **え**、直角3つ分の角は **か**、直角4つ分の角は **き** です。



★大セウ
90°, 180°, 270°, 360°は、どのくらいの大きさなのか、おぼえよう!

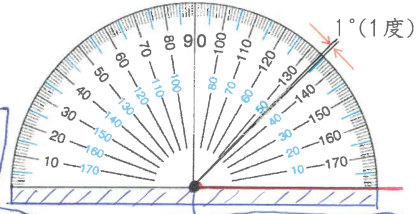


(3) 角の大きさをはかるには、**分度器** を使います。

分度器の小さい1目もりは **1** 度を表し、1°とかきます。

(4) 直角は **90**°です。

(5) 分度器の目もりは、0°から **180**°までついています。



学校で渡される分度器は、下の部分が付いているものが多い。

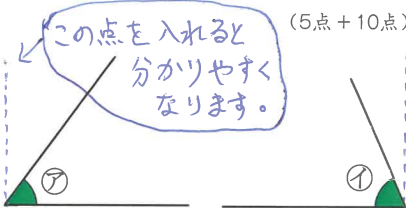
この点と赤の直線をしっかり合わせてください。

分度器 · 角 · 角度 · 180 · 1 · 90

★(2) ㉔の角は90°より小さく、㉗の角は90°と180°の間であることがわかることが大切です。 A-1

2 下の図を見て、あとの問題に答えましょう。(5点+10点)

(1) ㉑と㉒の角は、どちらが大きいですか。



答え(**㉑**)

(2) ㉑と㉒の角の大きさは何度ちがいますか。

$65\text{度} - 54\text{度} = 11\text{度}$

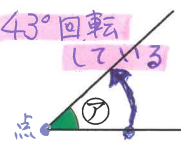
答え(**11度**) (11°)



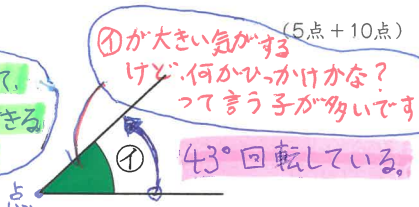
辺の長さが短くてもはかりにくいときは、辺をのばそう。

3 下の図を見て、あとの問題に答えましょう。(5点+10点)

(1) ㉑と㉒の角は、どちらが大きいですか。



ある点を中心として、直線がまわってできる形(開きぐあい)



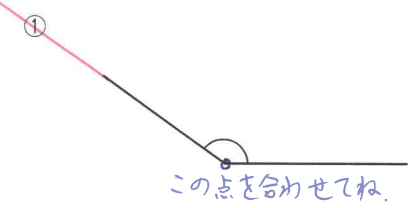
㉒角とは何なのか、見かけの大きさ(緑の部分)ではないことを理解しましょう。 ㉑(1)

答え(**自由に答えて下さい。**)

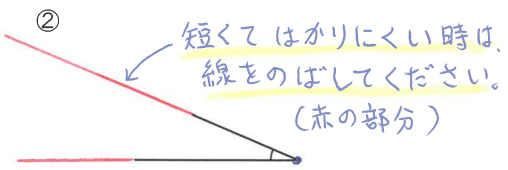
(2) ㉑と㉒の角の大きさは何度ちがいますか。はかって、くらべましょう。

答え(**どちらも43°で同じ**) (10点×2)

4 下の角の大きさをはかりましょう。



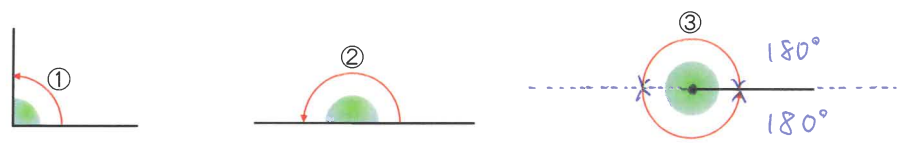
① [**145°**] (144°~146°)可



② [**23°**] (22°~24°)可 (2~3度ちがえば、もう一度はかってみましょう。)

1 次の角の大きさを調べましょう。 分度器ではかってください。 (5点×3)

- ① 直角〔 90° 〕 ② 半回転の角〔 180° 〕 ③ 1回転の角〔 360° 〕

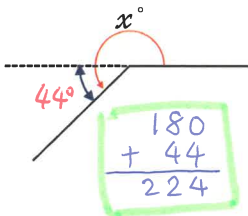


2 次の角 x の大きさを①, ②の2とおりの方ではかりましょう。 (10点×2)

① 180度より何度大きいかを調べる

(式) $180 + \boxed{44} = \boxed{224}$
(45) (225)

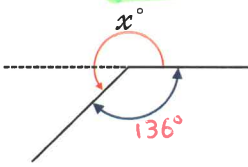
答え〔 224° 〕
(225)



② 360度より何度小さいかを調べる

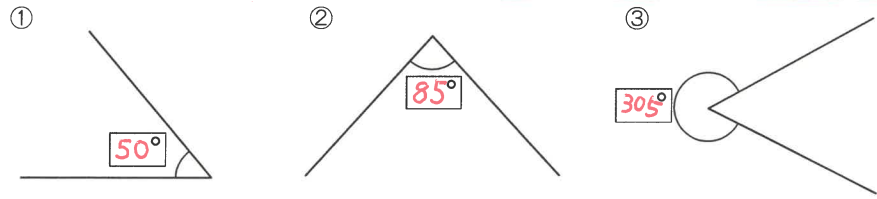
(式) $360 - \boxed{136} = \boxed{224}$
(135) (225)

答え〔 224° 〕
(225)



3 次の角の大きさは何度に見えますか。見当をつけましょう。 (3点×5)

(角度は5°きざみです。はからなくて答えてもよい。誤差10°以内は合格。ピッタリは+5点)



教科書に、この問題はありません。



$90^\circ, 180^\circ, 270^\circ, 360^\circ$ をもとにして、見当をつけましょう。

4 にあてはまることばや数をかきましょう。 (5点×2)

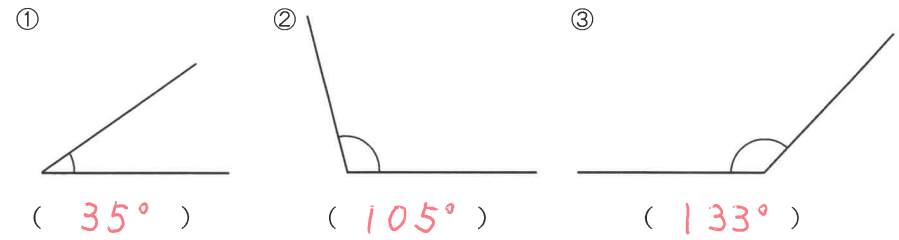
(1) 半回転の角度は、直角の 分の大きさに 度です。

$90 \times 2 = 180$

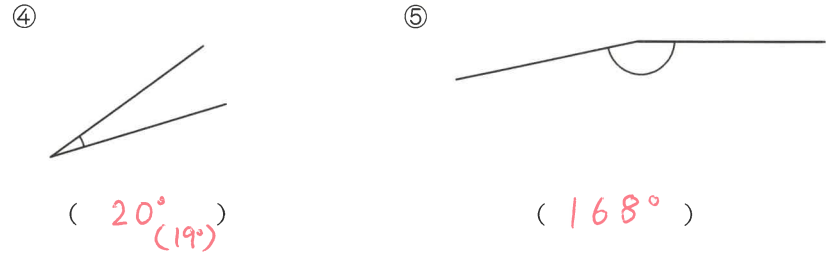
(2) 1回転の角度は、直角の 分の大きさに 度です。

$90 \times 4 = 360$

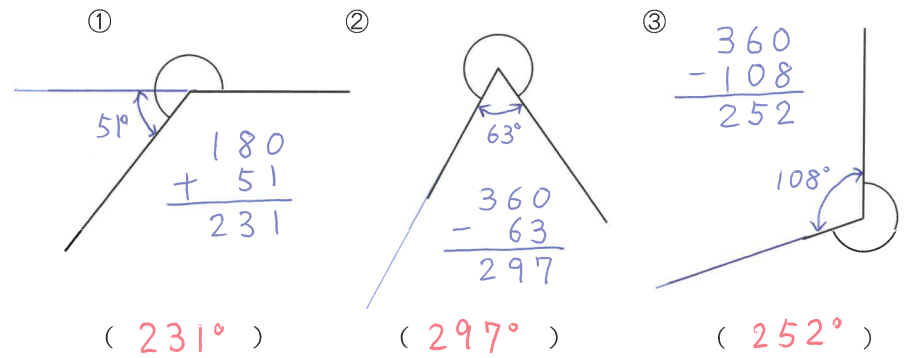
5 次の角の大きさはかりましょう。 ($1^\circ \sim 2^\circ$ のちがいは可) (5点×5)



(はかりにくい時は、線をのばしてはかりましょう。)

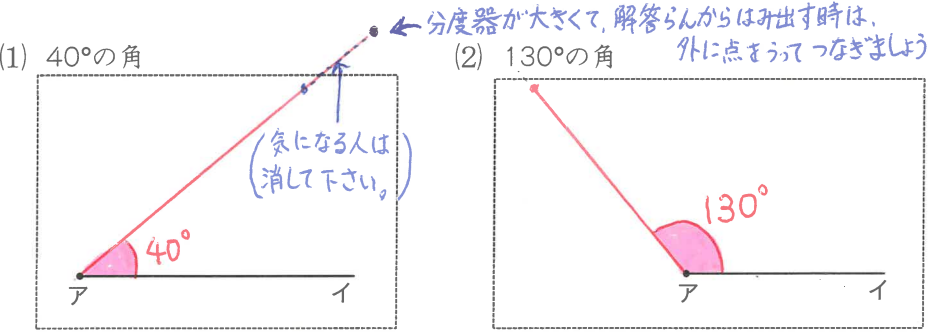
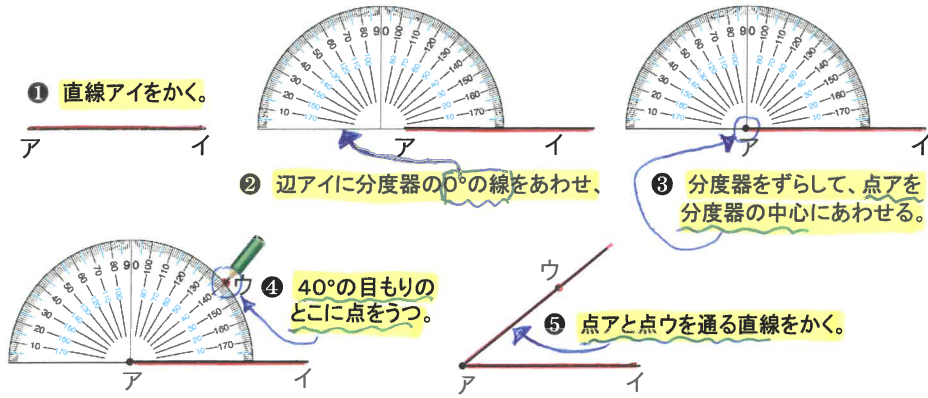


6 次の角の大きさはかりましょう。 ($1^\circ \sim 2^\circ$ のちがいは可) (5点×3)

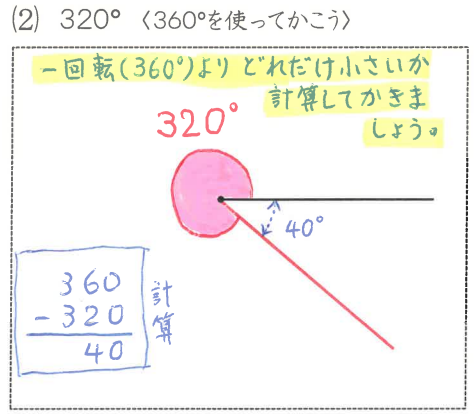
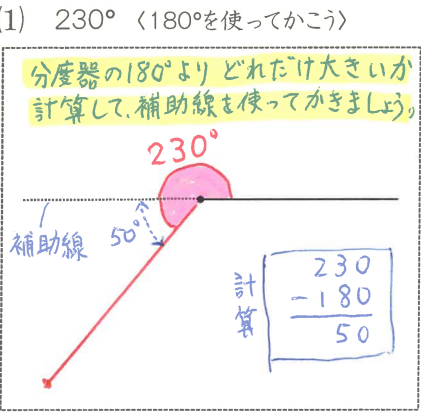


3	基本	角とその大きさ	角のかき方	学習日
----------	----	----------------	-------	---

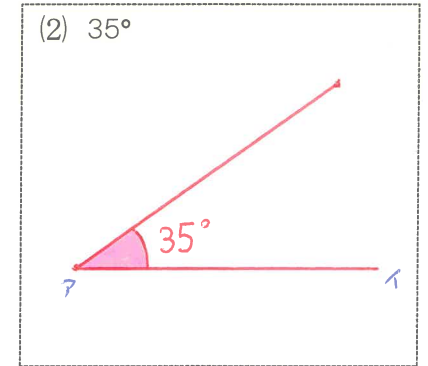
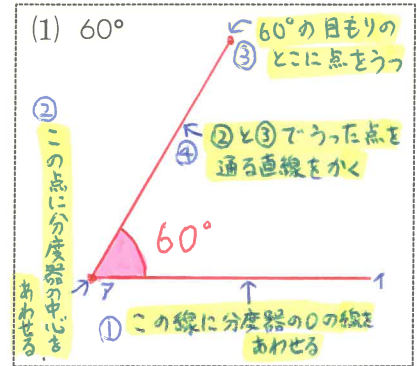
1 角のかき方をおぼえて、(1) 40°の角と、(2) 130°の角をかきましよう。(10点×2)



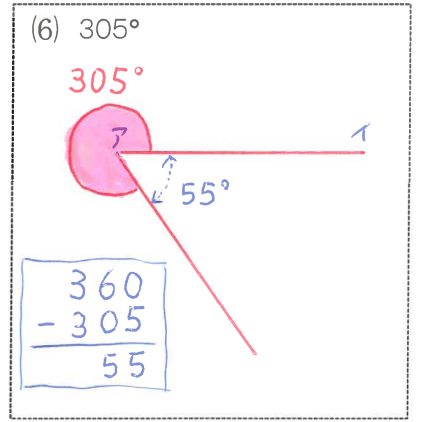
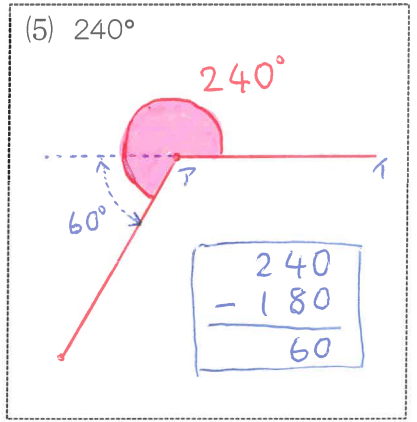
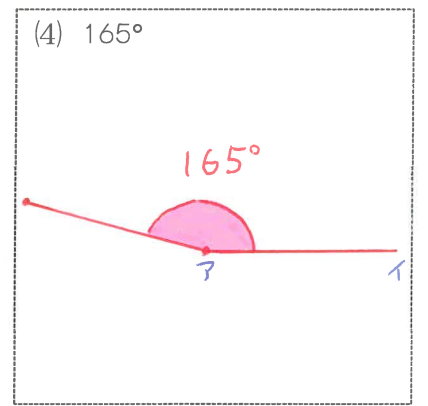
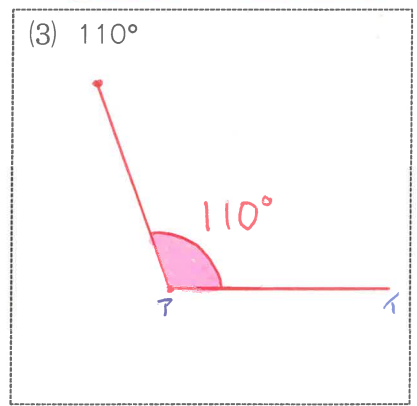
2 半回転の角(180°)や1回転の角(360°)をもとにして、次の角をかきましよう。(10点×2)



3 次の大きさの角をかきましよう。(10点×6)

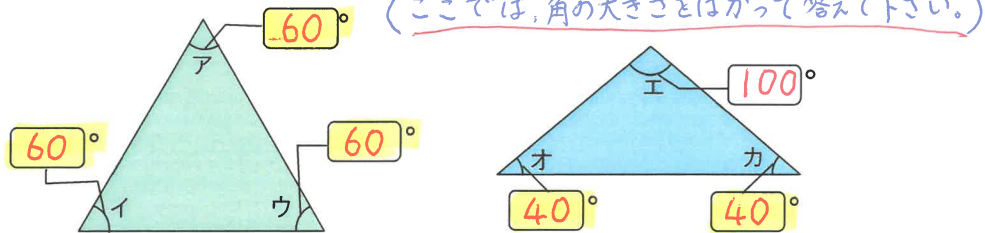


角がかきやすい位置を決め、まず下の直線アイをかきましよう。



4 標準 **角とその大きさ** 三角形の角・三角じょうぎの角 学習日 /

1 正三角形や二等辺三角形の角の大きさをはかりましょう。(3点×6)



(ここでは、角の大きさをはかって答えて下さい。)



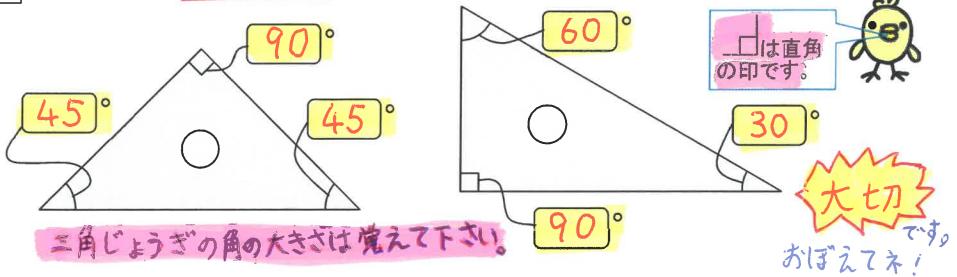
正三角形では、3つの角はどれも60°になっています。



二等辺三角形では、2つの角の大きさが同じになっています。

三角形の内角の和が180°になることは、小5で学習します。ここでは、上の2つの性質を覚えておきましょう。

2 角の大きさをはかりましょう。(3点×6)

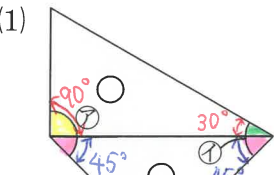


三角じょうぎの角の大きさは覚えて下さい。

大切です、おぼえてネ!

3 下の図は、1組の三角じょうぎを使って、いろいろな角を作ったものです。

⑦、⑧の角の大きさを答えましょう。(筆算をしよう。)

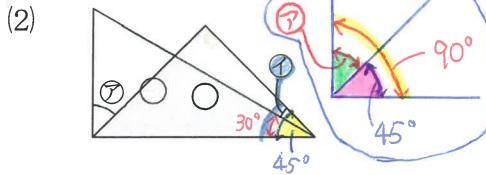


$$\begin{array}{r} 90 \\ + 45 \\ \hline 135 \end{array}$$

⑦は、90°と45°を合わせてた角度

⑧は、30°と45°を合わせた角度

(1) [⑦... 135°, ⑧... 75°]



$$\begin{array}{r} 90 \\ - 45 \\ \hline 45 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 45 \\ - 30 \\ \hline 15 \end{array}$$

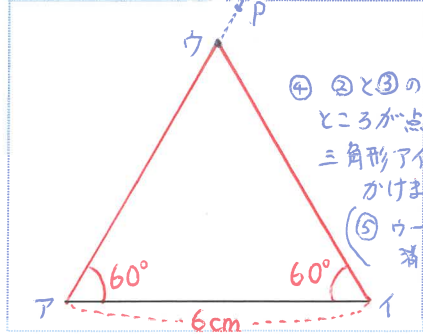
⑦は右上のヒントより90°から45°をひいた角度です。

⑧は45°から30°をひいた角度です

(2) [⑦... 45°, ⑧... 15°]

こちらは、むずかしいようです。実際に三角じょうぎを重ねてみてください。

4 三角じょうぎの60°の角を使って、1辺の長さが6cmの正三角形をかきましょう。

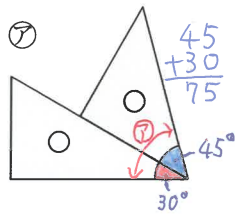


(8点)

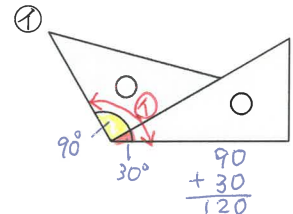
- まず、下の方に6cmの直線アイをかきます。
- 点アを分度器の中心におわせ、60°の目まりのところに点Pをうます。そして、アとPをつなぎます。
- 点イからも、②と同じことをします。

④ ②と③の交ったところが点ウとなり、三角形アウイがかけます。
⑤ ウーPの線は消します。

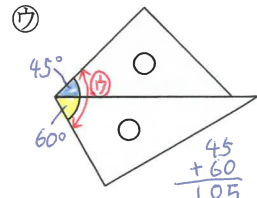
5 1組の三角じょうぎを使って、⑦~⑩の角を作りました。それぞれ何度ですか。(4点×7)



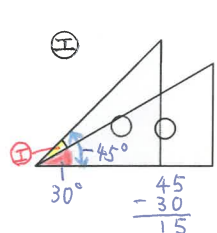
⑦ [75°]



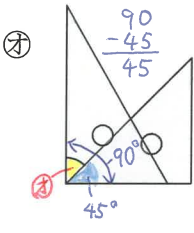
⑧ [120°]



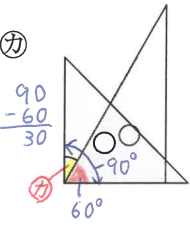
⑨ [105°]



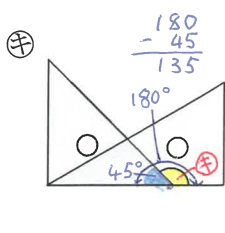
⑩ [15°]



⑪ [45°]



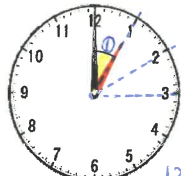
⑫ [30°]



⑬ [135°]

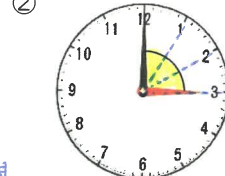
6 次の時計の、長いはりと短いはりがつくる角度は何度ですか。(4点×3)

(ヒントに注意)



12と1の間
90°÷3=30°...①の角度
(30°×1=30°)

① [30°]



12と3の間の角度は90°です。
(30°×3=90°)と考えるとよい。

② [90°]

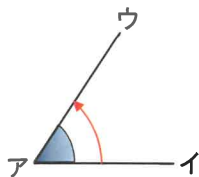


180°+30°=210°
(30°×7=210°)と考えるとよい。

③ [210°]

1 にあてはまることばや記号や数字をかきましょう。(3点×6)

(1) 直線が辺アイの位置からアウの位置までまわってできる形を **角** といいます。



(2) 角の大きさをはかるには、**分度器** を使います。

(3) 角の大きさのことを **角度** ともいいます。

(4) 直角の大きさは **90**° です。

(5) 半回転の角の大きさは **180**° です。

(6) 1回転の角の大きさは **360**° です。



2 次の角の大きさをはかりましょう。(5点×3)

① (**58°**)

② (**120°**)

③ (**243°**)

180°を使った時

$$\begin{array}{r} 180 \\ + 63 \\ \hline 243 \end{array}$$

360°を使った時

$$\begin{array}{r} 360 \\ - 117 \\ \hline 243 \end{array}$$

くわしい書き方は (A-5) のプリントを見てください

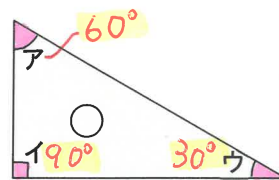
3 次の大きさの角をかきましょう。(5点×3)

(1) 60°

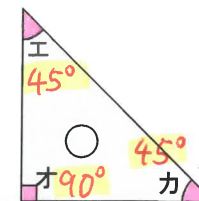
(2) 35°

(3) 110°

4 角の大きさをかきましょう。(2点×6)



ア [60°]
 イ [90°]
 ウ [30°]



エ [45°]
 オ [90°]
 カ [45°]

★まだ覚えていない人は、ここで覚えて下さい。

5 2組の三角じょうぎを使って、㊦～㊨の角を作りました。それぞれ何度ですか。(5点×6)

㊦ [**135°**]

㊧ [**15°**]

㊨ [**60°**]

㊩ [**90°**]

㊪ [**120°**]

㊫ [**15°**]

6 12時から次の時こくまでに時計の、長いはりが回転する角度は何度ですか。(5点×2)

① $30 \times 5 = 150$ [**150°**]

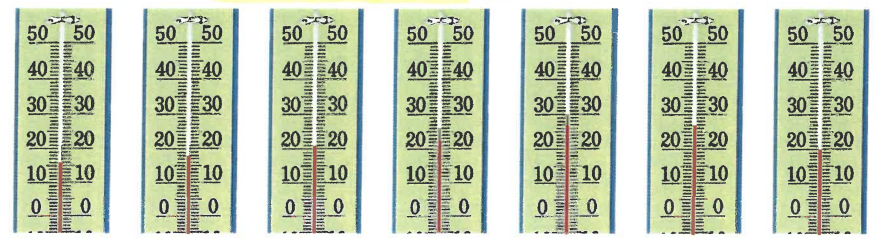
② $30 \times 6 = 180$
 $360 + 180 = 540$ [**540°**]

または $12 + 6 = 18$
 $30 \times 18 = 540$

② 折れ線グラフを用いると、伴って変わる2つの数量の変化の様子をわかりやすく表すことができる。

6 基本 折れ線グラフ 変わり方を表すグラフ 学習日 /

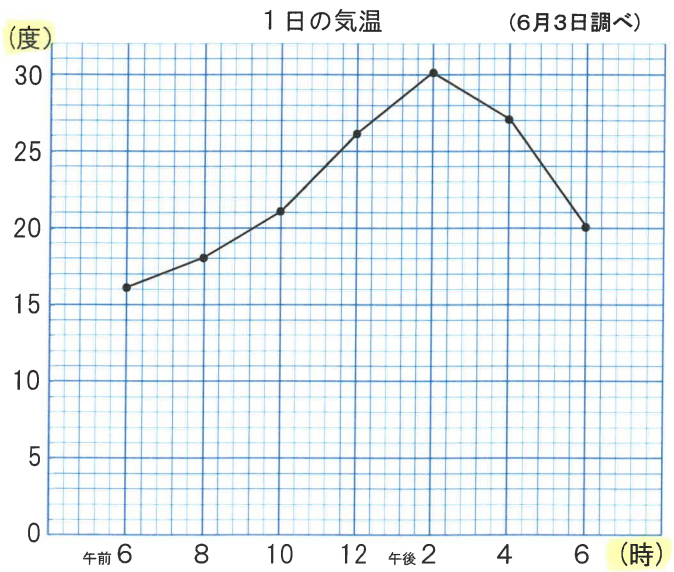
1 しおりさんは、1日の気温の変わり方を調べようと思って、2時間ごとの気温をはかりました。



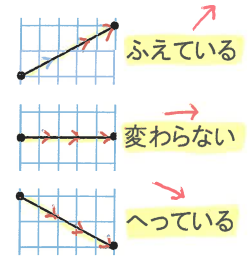
(1) それぞれの時ごとの気温を表にかいてみましょう。(10点)

1日の気温 (6月3日調べ)							
時こく(時)	午前 6	8	10	12	午後 2	4	6
気温(度)	16	18	21	26	30	27	20

(2) 下のグラフは、気温が変わっていくようすをグラフに表したものです。



左のようなグラフをおせん折れ線グラフといます。折れ線グラフでは、線のかたむきぐあい、で、変わり方のようすがわかります。

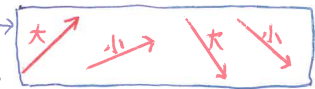


① 横、たての目もりは、何を表していますか。(5点×2)
横[時こく] , たて[気温]

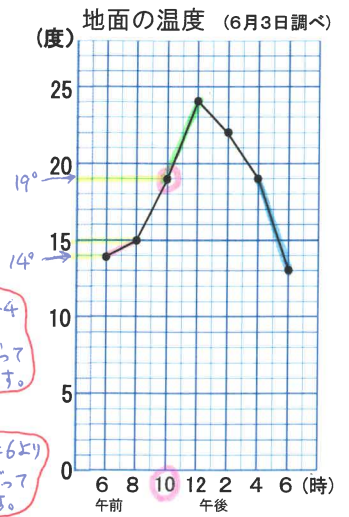
② 上のグラフを見て、気温がどのように変わっていったかをかきましょう。(10点)
(例) [午前6時から午後2時までは気温は上がっているが、午後2時から下がりていった。]

② 折れ線グラフの線の傾きから変化の様子をよむとろう。 → 大 ↑ 小 ↓ 大 ↓ 小 ↓

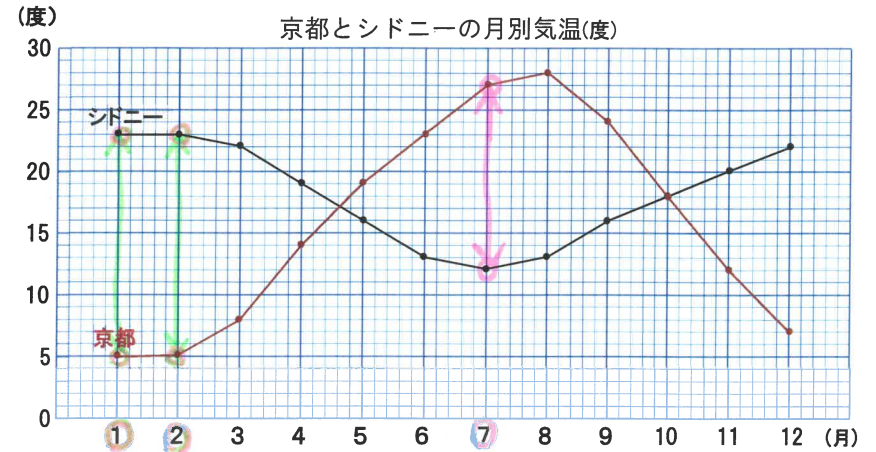
2 下のグラフは、2時間ごとに地面の温度を調べたものです。



- 午前10時の地面の温度は何度ですか。 [19度]
- 午前6時から午前8時までの2時間で、地面の温度は何度あがりましたか。 [1度]
- 地面の温度の上がり方がいちばん大きいのは、何時から何時までの間ですか。 [午前10時から午前12時までの間 (午後0時)]
- 地面の温度の下がり方がいちばん大きいのは、何時から何時までの間ですか。 [午後4時から午後6時までの間]



3 下のグラフは、京都とシドニーの月別の気温を調べたものです。(10点×3)



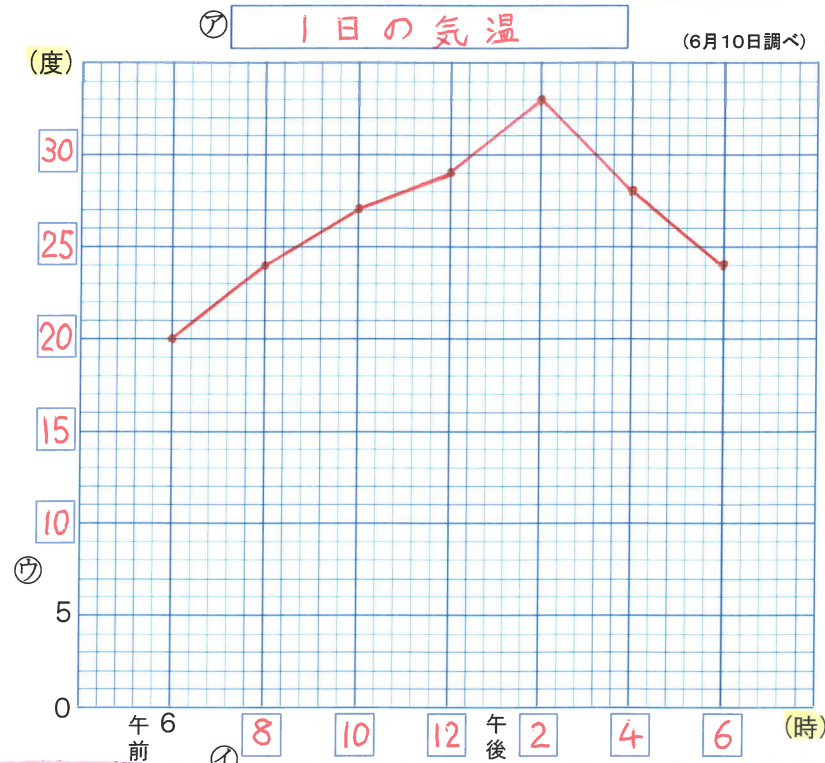
- 7月の京都とシドニーの気温のちがいは何度ですか。 [15度]
- 気温の差がもっとも大きいのは、何月と何月ですか。 [1月と2月]
- 2つの折れ線グラフを見て、気がついたことをかきましょう。
(例) [〇10月の気温は同じです。 〇シドニーが暑いのは1月、2月で、この時京都はいちばん寒いです。]

◎ 表から折れ線グラフを作ることができる。

7 基本 折れ線グラフ 折れ線グラフのかき方 学習日 /

1 下の表は、あやほさんが調べた1日の気温です。これを折れ線グラフにかきましょう。

1日の気温 (6月10日調べ)	
時こく(時)	午前 6 8 10 12 午後 2 4 6
気温(度)	20 24 27 29 33 28 24



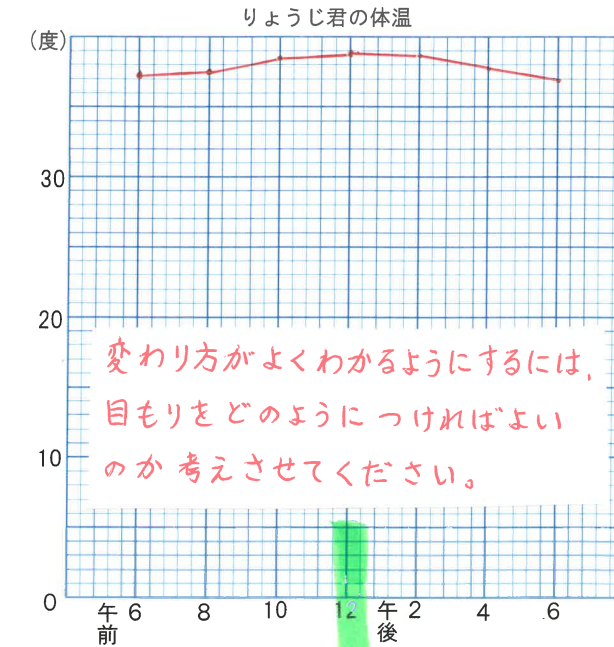
時こくの目もり(時)は7個必要です。20度と33度が表せるように目もりを付けます。

- 折れ線グラフのかき方**
- ※ 目もりのつけ方に気をつけて!
- ⑦に表題をかきましょう。(5点)
 - ⑧の横に時こくをとり、目もりをつけましょう。単位もつけて下さい。(時) (5点)
 - ⑨のたてに気温をとり、目もりをつけましょう。単位もつけて下さい。(度) (5点)
 - それぞれの時こくの気温を表す点をうちましょう。(20点)
 - 点を順に直線でつなぎましょう。(15点)

◎ 変化の様子がわかりやすくなるように目盛りの大きさを考えて折れ線グラフを作る。

2 下の表は、りょうじ君がかぜをひいたときの体温を2時間ごとにはかったものです。

りょうじ君の体温	
時こく(時)	午前 6 8 10 12 午後 2 4 6
体温(度)	37.1 37.5 38.4 38.8 38.6 37.8 36.9



変わりがよくわかるようにするには、目もりをどのようにつけばよいのか考えさせてください。

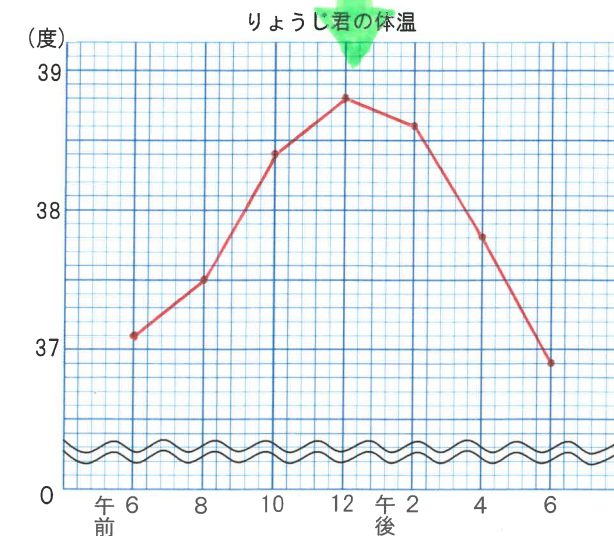
(1) りょうじ君の体温の変わり方のようすを、折れ線グラフにかきましょう。(15点)

折れ線の上がり下がりが小さくて、変わり方のようすがよくわからないなあ。



(2) 体温の変わり方が、もっとよくわかるようなグラフを下にかきましょう。(15点)

~~~~は、一部分を省略してある印です。



(3) 上と下のグラフをくらべて、気がついたことをかきましょう。(20点)

(例) 下のグラフの方が、変わり方のようすがよくわかります。



**8** 基本 折れ線グラフ まとめの問題 学習日

1 折れ線グラフに表すとよいものに○、棒グラフに表すとよいものに△をつけましょう。(5点×4)

- ① 午前9時の京都のいろいろな場所の気温 → 比較 → 棒グラフ ……( △ )
- ② 水を温めているときの水の温度の変わり方 → 変化 → 折れ線グラフ ……( ○ )
- ③ 月曜日から金曜日までの、4年生全体のけっせき者の人数 ……( △ )
- ④ 1才から10才までの、けんじ君の体重の変わり方 ……( ○ )

2 下のグラフは、折れ線グラフの変わり方のようすを表したものです。変わり方のようすを説明しているものをえらんで、記号で答えましょう。(5点×3)

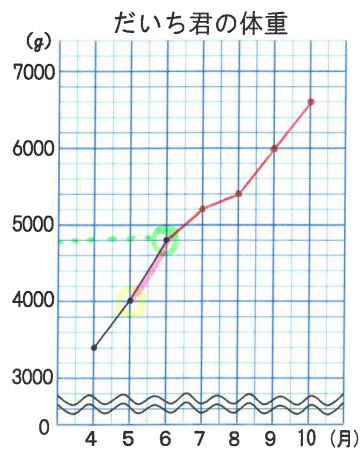
① (㉞)    ② (㉠)    ③ (㉡)

㉞ ふえる(上がる)    ㉠ へる(下がる)    ㉡ 変わらない

3 下の表と折れ線グラフは、赤ちゃんの体重を調べたものです。(5点×4)

だいち君の体重

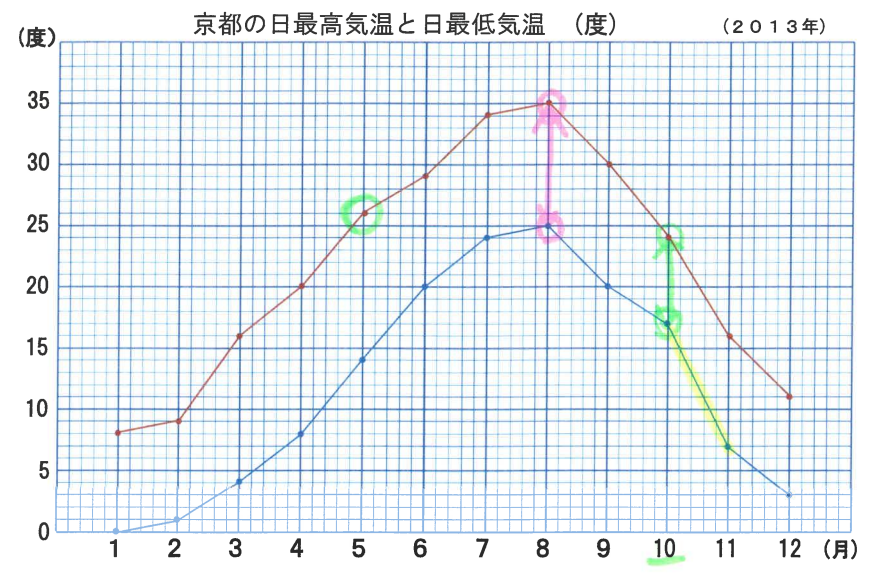
|       |      |      |      |      |      |      |      |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 月     | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   |
| 体重(g) | 3400 | 4000 | 4800 | 5200 | 5400 | 6000 | 6600 |



- ① 表のあいっているところに数字をかきましょう。
- ② グラフの続きをかきましょう。
- ③ たての1目もりは何gを表していますか。  
5目もり → 1000g まで。  
 $1000 \div 5 = 200$ (g) [ 200 g ]
- ④ 体重のふえ方が一番大きいのは、何月から何月の間ですか。  
[ 5 月から 6 月の間 ]

⑩ 2つのグラフを関連つけて、どんなことがわかるかを考えたり、説明したりする。

4 下のグラフは、京都の日最高気温と日最低気温の平均の変化を調べたものです。(5点×6)



- (1) 5月の京都の日最高気温は何度ですか。 [ 26 度 ]
- (2) 8月の京都の日最高気温と日最低気温の差は何度ですか。  
 $35 - 25 = 10$ (度)  
(グラフから読みとってよい) [ 10 度 ]
- (3) 気温の差がいちばん小さいのは、何月で、何度ですか。  
 $24 - 17 = 7$ (度) [ 10 月 ], [ 7 度 ]
- (4) 日最低気温の下がり方が一番大きいのは、何月から何月の間で、何度ですか。  
 $17 - 7 = 10$ (度) [ 10 月から 11 月の間 ] [ 10 度 ]
- (5) 日最高気温と日最低気温のグラフをくらべて、気がついたことをかきましょう。(例)  
  - 日最高気温が高い月は、日最低気温も高くなっています。
  - (日最高気温が低い月は、日最低気温も低くなっています。)
  - 3月から5月ごろ、日最高気温と日最低気温の差が大きくなり、10月ごろ差が小さくなります。

◎ 具体物を使った計算の仕方をもとに、(2位数)÷(1位数)の筆算の仕方を考える。

**9 基本 わり算の筆算** (2けた)÷(1けた)の筆算 学習日 /

**1** 78円のお金を、3人で同じように分けると、1人分は何円になりますか。(5点×4)



- (1) 式は、 $78 \div 3$  になります。 **18円を3人で分ける**
- (2) 70円を3人で分けると、 $7 \div 3 = 2 \dots 1$ より、1人分は **20**円で、**10**円残ります。
- (3) 残った10円と8円を合わせた**18円**を3人で分けると、 $18 \div 3 = 6$  より、1人分は **6**円になります。
- (4) 1人分は **20**円と **6**円を合わせて、26円。 答え〔 26円 〕

**2**  $78 \div 3$ の筆算のしかたを考えましょう。

- (1) 十の位は  $7 \div 3$  で、**2** をたてて、
- (2) **3**に**2**をかけて、**6** **7**から**6**をひいて、**1**
- (3) 一の位の**8**をおろす
- (4)  $18 \div 3$ で、**6**をたてて **3**に**6**をかけて、**18** **18**から**18**をひいて、**0**

★  $78 \div 3 = 26$  となります。  
筆算のやり方を覚えて下さい。

**3** 72本のえんぴつを、4人で同じ数ずつ分けると、1人分は何本になりますか。(10点)

(式)  $72 \text{ (本)} \div 4 = 18 \text{ (本)}$

$$\begin{array}{r} 18 \\ 4 \overline{) 72} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$

答え〔 18本 〕

◎ 筆算は、大きい位から、[たてる]→[かける]→[ひく]→[おろす]の順に計算する。

**4** (例)にならって、次の計算を筆算でしましょう。①→⑩の順にやろう。(3点×10)

★ (例)  $\begin{array}{r} 27 \\ 2 \overline{) 54} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 14 \\ \underline{14} \\ 0 \end{array}$     ①  $\begin{array}{r} 36 \\ 2 \overline{) 72} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$     ②  $\begin{array}{r} 15 \\ 3 \overline{) 45} \\ \underline{3} \phantom{0} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$     ③  $\begin{array}{r} 14 \\ 6 \overline{) 84} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$

④  $\begin{array}{r} 13 \\ 5 \overline{) 65} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$     ⑤  $\begin{array}{r} 24 \\ 4 \overline{) 96} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$     ⑥  $\begin{array}{r} 13 \\ 7 \overline{) 91} \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 21 \\ \underline{21} \\ 0 \end{array}$     ⑦  $\begin{array}{r} 16 \\ 5 \overline{) 80} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 30 \\ \underline{30} \\ 0 \end{array}$

ひいた数が0になる筆算

★ (例)  $\begin{array}{r} 32 \\ 3 \overline{) 96} \\ \underline{9} \phantom{0} \\ 06 \\ \underline{06} \\ 0 \end{array}$     ⑧  $\begin{array}{r} 42 \\ 2 \overline{) 84} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$     ⑨  $\begin{array}{r} 31 \\ 3 \overline{) 93} \\ \underline{9} \phantom{0} \\ 3 \\ \underline{3} \\ 0 \end{array}$     ⑩  $\begin{array}{r} 10 \\ 6 \overline{) 60} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 00 \\ \underline{00} \\ 0 \end{array}$

**5** 96まいの色紙を、1人に4まいずつ配ります。何人に配ることができますか。(10点)

(式)  $96 \text{ (まい)} \div 4 \text{ (まい)} = 24$

$$\begin{array}{r} 24 \\ 4 \overline{) 96} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

答え〔 24人 〕

**6** 70このクリを、5人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになりますか。(10点)

(式)  $70 \text{ (こ)} \div 5 = 14 \text{ (こ)}$

$$\begin{array}{r} 14 \\ 5 \overline{) 70} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

答え〔 14こ 〕

② 余りのある(2位数)÷(1位数)の筆算と、答えの確かめができる。

**10** 基本 **わり算の筆算** (2けた)÷(1けた)の筆算-余りあり 学習日 /

**1** 88まいの画用紙を、1人に6まいずつ配ると、何人に分けられて、何まいあまりますか。式をたて、筆算のしかたを考えましょう。(20点:1カ所につき1点減)

(式)  $88 \div 6$

**筆算**

|       |   |
|-------|---|
| 1     | 4 |
| 6) 88 |   |
| 6     |   |
| 28    |   |
| 24    |   |
| 4     |   |

- 十の位は8÷6で、ア **1** をたてて、
- 6に1をかけてイ **6**  
8からイ **6** をひいてウ **2**
- 一の位のエ **8** をおろす
- 28÷6で、エ **4** をたてて  
ひに4をかけてカ **24**  
28から24をひいてク **4** ← **あまり**



★  $88 \div 6 = 14$  あまり  $4$  となります。

わられる数 14 商 4 答え [14人に分けられて4まいあまる。]

★ **答えのたしかめ**  $6 \times 14 + 4 = 88$  (大七カ)

[わる数] [商] [あまり] [わられる数]

**2** 65このみかんを、1人に4こずつ配ると、何人に分けられて、何こあまりますか。答えのたしかめもしましょう。(15点)

(式)  $65 \div 4 = 16$  あまり  $1$

|       |
|-------|
| 16    |
| 4) 65 |
| 4     |
| 25    |
| 24    |
| 1     |

(たしかめ)  $4 \times 16 + 1 = 65$  答え [16人に分けられて1こあまる。]

**3** 73cmのひごがあります。5cmの長さのひごが何本作れて、何cmあまりますか。答えのたしかめもしましょう。(15点)

(式)  $73 \div 5 = 14$  あまり  $3$  (cm)

|       |
|-------|
| 14    |
| 5) 73 |
| 5     |
| 23    |
| 20    |
| 3     |

(たしかめ)  $5 \times 14 + 3 = 73$  答え [14本作れて3cmあまる。]

**4** (例)にならって、次の計算を筆算でしましょう。①→⑩の順にやろう。(3点×10)

(例)  $463 \div 15$

|       |
|-------|
| 15    |
| 4) 63 |
| 4     |
| 23    |
| 20    |
| 3     |

①  $586 \div 17$

|       |
|-------|
| 17    |
| 5) 86 |
| 5     |
| 36    |
| 35    |
| 1     |

②  $273 \div 36$

|       |
|-------|
| 36    |
| 2) 73 |
| 6     |
| 13    |
| 12    |
| 1     |

③  $894 \div 11$

|       |
|-------|
| 11    |
| 8) 94 |
| 8     |
| 14    |
| 8     |
| 6     |

④  $383 \div 27$

|       |
|-------|
| 27    |
| 3) 83 |
| 6     |
| 23    |
| 21    |
| 2     |

⑤  $795 \div 13$

|       |
|-------|
| 13    |
| 7) 95 |
| 7     |
| 25    |
| 21    |
| 4     |

⑥  $490 \div 22$

|       |
|-------|
| 22    |
| 4) 90 |
| 8     |
| 10    |
| 8     |
| 2     |

⑦  $670 \div 11$

|       |
|-------|
| 11    |
| 6) 70 |
| 6     |
| 10    |
| 6     |
| 4     |

⑧  $368 \div 22$

|       |
|-------|
| 22    |
| 3) 68 |
| 6     |
| 8     |
| 6     |
| 2     |

⑨  $285 \div 42$

|       |
|-------|
| 42    |
| 2) 85 |
| 8     |
| 5     |
| 4     |
| 1     |

⑩  $993 \div 10$

|       |
|-------|
| 10    |
| 9) 93 |
| 9     |
| 3     |

ひいた数が0になる筆算

この0はなれたら書かなくてもいい

ここに0をわすれないで。

**5** 77さつのノートを、1人に3さつずつ配ると、何人に分けられて、何さつあまりますか。(10点)

(式)  $77 \div 3 = 25$  あまり  $2$

|       |
|-------|
| 25    |
| 3) 77 |
| 6     |
| 17    |
| 15    |
| 2     |

答え [25人に分けられて2さつあまる。]

**6** 90cmのはり金があります。8cmの長さのはり金が何本作れて、何cmあまりますか。(10点)

(式)  $90 \div 8 = 11$  あまり  $2$  (cm)

|       |
|-------|
| 11    |
| 8) 90 |
| 8     |
| 10    |
| 8     |
| 2     |

答え [11本作れて2cmあまる。]

② (3位数)÷(1位数)の筆算の仕方を考える。

11 基本 わり算の筆算 (3けた)÷(1けた)の筆算-1 学習日 /

1 867÷3の筆算のしかたを考えましょう。(20点)

筆算

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ア | オ | コ |   |
| 2 | 8 | 9 |   |
| 3 | 8 | 6 | 7 |
| イ | 6 |   |   |
| エ | 2 | 6 |   |
| カ | 2 | 4 |   |
| ケ | 2 | 7 |   |
| サ | 2 | 7 |   |
| シ |   |   | 0 |

- 百の位は8÷3で、ア2をたてて、
  - 3に2を掛けてイ6、オからイ6をひいてエ2
  - 十の位のエ6をおろす
  - 26÷3で、十の位にカ8をたてて、
  - 3に8を掛けてカ2・キ4、26から24をひいてケ2
  - 一の位のケ27をおろす
  - 27÷3で、一の位にコ9をたてて、
  - 3に9を掛けてサ2・シ7、27から27をひいてシ0
- ★ 867÷3 = 289となります。

2 次の筆算をしましょう。(5点×6)

(1) 
$$\begin{array}{r} 168 \\ 4 \overline{) 674} \\ \underline{4} \phantom{00} \\ 27 \phantom{0} \\ \underline{24} \phantom{0} \\ 34 \\ \underline{32} \\ 2 \end{array}$$

(2) 
$$\begin{array}{r} 117 \\ 7 \overline{) 822} \\ \underline{7} \phantom{00} \\ 12 \phantom{0} \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 52 \\ \underline{49} \\ 3 \end{array}$$

(3) 
$$\begin{array}{r} 107 \\ 5 \overline{) 539} \\ \underline{5} \phantom{00} \\ 3 \phantom{0} \\ \underline{0} \phantom{0} \\ 39 \\ \underline{35} \\ 4 \end{array}$$

ふつうは書かない。  
計算を省く時は④を省いて⑤に3をおろします。

- ① 0は書かない。
- ② 3をおろす。
- ③ 3は5でわれないから0をたてて、
- ④ 5×0=0
- ⑤ 3-0=3

(4) 
$$\begin{array}{r} 46 \\ 6 \overline{) 276} \\ \underline{24} \phantom{0} \\ 36 \\ \underline{36} \\ 0 \end{array}$$

② 2は6でわれないので、  
① 27÷6で4をたてる。

(5) 
$$\begin{array}{r} 67 \\ 3 \overline{) 203} \\ \underline{18} \phantom{0} \\ 23 \\ \underline{21} \\ 2 \end{array}$$

(6) 
$$\begin{array}{r} 70 \\ 8 \overline{) 567} \\ \underline{56} \phantom{0} \\ 7 \\ \underline{0} \\ 7 \end{array}$$

ふつうは書かない。  
① 7は8でわれないから、  
①に0をたてる。  
②に0をわすれずに書きましょう。

(例) にならって、番号順に練習して下さい。

3 (例) にならって、次の計算を筆算でしましょう。(4点×10)

(例) 
$$\begin{array}{r} 378 \\ 2 \overline{) 756} \\ \underline{6} \phantom{00} \\ 15 \phantom{0} \\ \underline{14} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

① 
$$\begin{array}{r} 158 \\ 4 \overline{) 632} \\ \underline{4} \phantom{00} \\ 23 \phantom{0} \\ \underline{20} \phantom{0} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 136 \\ 7 \overline{) 957} \\ \underline{7} \phantom{00} \\ 25 \phantom{0} \\ \underline{21} \phantom{0} \\ 47 \\ \underline{42} \\ 5 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 118 \\ 6 \overline{) 713} \\ \underline{6} \phantom{00} \\ 11 \phantom{0} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 53 \\ \underline{48} \\ 5 \end{array}$$

(例) 
$$\begin{array}{r} 68 \\ 5 \overline{) 341} \\ \underline{30} \phantom{0} \\ 41 \\ \underline{40} \\ 1 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 65 \\ 9 \overline{) 585} \\ \underline{54} \phantom{00} \\ 45 \\ \underline{45} \\ 0 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 87 \\ 3 \overline{) 262} \\ \underline{24} \phantom{00} \\ 22 \\ \underline{21} \phantom{00} \\ 1 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 75 \\ 8 \overline{) 604} \\ \underline{56} \phantom{00} \\ 44 \\ \underline{40} \\ 4 \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 209 \\ 4 \overline{) 836} \\ \underline{8} \phantom{00} \\ 36 \\ \underline{36} \\ 0 \end{array}$$

⑧ 
$$\begin{array}{r} 120 \\ 7 \overline{) 843} \\ \underline{7} \phantom{00} \\ 14 \\ \underline{14} \\ 3 \end{array}$$

⑨ 
$$\begin{array}{r} 42 \\ 5 \overline{) 214} \\ \underline{20} \phantom{00} \\ 14 \\ \underline{10} \\ 4 \end{array}$$

⑩ 
$$\begin{array}{r} 60 \\ 8 \overline{) 487} \\ \underline{48} \phantom{00} \\ 7 \end{array}$$

4 656まいの画用紙を、4クラスに同じ数ずつ分けると、1クラス分は何まいになりますか。(10点)

(式) 
$$656 \div 4 = 164$$
 (まい)

答え 164まい

$$\begin{array}{r} 164 \\ 4 \overline{) 656} \\ \underline{4} \phantom{00} \\ 25 \phantom{0} \\ \underline{24} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

㊦ (3位数)÷(1位数)の筆算の練習

12 基本 わり算の筆算 (3けた)÷(1けた)の筆算-(2) 学習日 /

1 次の計算を筆算でしましょう。 A-22 ㉓の練習(少し順序をぐずしています)(4点×12)

① 
$$\begin{array}{r} 179 \\ 2 \overline{) 358} \\ \underline{2} \phantom{0} \\ 15 \phantom{0} \\ \underline{14} \phantom{0} \\ \phantom{1} 8 \phantom{0} \\ \underline{18} \phantom{0} \\ \phantom{1} 0 \phantom{0} \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 148 \\ 5 \overline{) 742} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 24 \phantom{0} \\ \underline{20} \phantom{0} \\ \phantom{2} 42 \\ \underline{40} \\ \phantom{2} 2 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 117 \\ 6 \overline{) 706} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 10 \phantom{0} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ \phantom{1} 46 \\ \underline{42} \\ \phantom{1} 4 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 275 \\ 3 \overline{) 825} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 22 \phantom{0} \\ \underline{21} \phantom{0} \\ \phantom{2} 15 \\ \underline{15} \\ \phantom{2} 0 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 24 \\ 7 \overline{) 168} \\ \underline{14} \phantom{0} \\ \phantom{1} 28 \\ \underline{28} \\ \phantom{1} 0 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 75 \\ 4 \overline{) 303} \\ \underline{28} \phantom{0} \\ \phantom{2} 23 \\ \underline{20} \\ \phantom{2} 3 \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 64 \\ 9 \overline{) 581} \\ \underline{54} \phantom{0} \\ \phantom{5} 41 \\ \underline{36} \\ \phantom{5} 5 \end{array}$$

⑧ 
$$\begin{array}{r} 81 \\ 8 \overline{) 650} \\ \underline{64} \phantom{0} \\ \phantom{6} 10 \\ \underline{8} \\ \phantom{6} 2 \end{array}$$

⑨ 
$$\begin{array}{r} 104 \\ 6 \overline{) 624} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ \phantom{6} 24 \\ \underline{24} \\ \phantom{6} 0 \end{array}$$

⑩ 
$$\begin{array}{r} 51 \\ 5 \overline{) 257} \\ \underline{25} \phantom{0} \\ \phantom{25} 7 \\ \underline{5} \\ \phantom{25} 2 \end{array}$$

⑪ 
$$\begin{array}{r} 240 \\ 4 \overline{) 963} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ \phantom{8} 16 \\ \underline{16} \\ \phantom{8} 3 \end{array}$$

⑫ 
$$\begin{array}{r} 70 \\ 7 \overline{) 494} \\ \underline{49} \phantom{0} \\ \phantom{49} 4 \end{array}$$

2 378まいの色紙を7人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになりますか。(10点)

(式) 
$$\begin{array}{r} 54 \\ 7 \overline{) 378} \\ \underline{35} \phantom{0} \\ \phantom{35} 28 \\ \underline{28} \\ \phantom{35} 0 \end{array}$$

答え〔 54まい 〕

3 テープを8m買うと360円でした。1mのねだんは何円ですか。(10点)

(式) 
$$360_{(円)} \div 8 = 45_{(円)}$$

$$\begin{array}{r} 45 \\ 8 \overline{) 360} \\ \underline{32} \phantom{0} \\ \phantom{32} 40 \\ \underline{40} \\ \phantom{32} 0 \end{array}$$

答え〔 45円 〕

4 はる子さんは、 $857 \div 3$ の計算のまちがいを左下のように説明しています。(10点)

あまりがわる数の3よりも大きいのはまちがいです。商の一の位は4ではなく5をたてます。

$$\begin{array}{r} 284 \\ 3 \overline{) 857} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ \phantom{6} 25 \\ \underline{24} \\ \phantom{6} 17 \\ \underline{15} \\ \phantom{6} 2 \end{array}$$



★  $585 \div 4$ の計算のまちがいを説明してみましょう。

$$\begin{array}{r} 145 \\ 4 \overline{) 585} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ \phantom{4} 18 \\ \underline{16} \\ \phantom{4} 25 \\ \underline{20} \\ \phantom{4} 5 \end{array}$$

あまりがわる数の4よりも大きいのはまちがいです。商の一の位は5ではなく、6をたてます。

5 商が2けたになるのは、□にどんな数をあてはめたときですか。(10点)

$2 \overline{) \square 53}$

$$\begin{array}{r} 76 \\ 2 \overline{) 53} \\ \underline{14} \\ \phantom{14} 13 \\ \underline{12} \\ \phantom{14} 1 \end{array}$$

□に1が入った時、百の位に商はたちません。

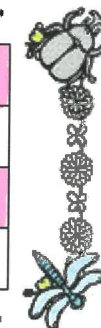
答え〔 1 〕

□に2以上が入った時、百の位に商がたちます。

6 商が2けたになるまでに色をぬりましょう。(12点)



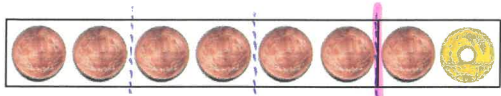
|                      |                      |                      |                      |                      |                      |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| $3 \overline{) 126}$ | $4 \overline{) 367}$ | $2 \overline{) 769}$ | $5 \overline{) 648}$ | $8 \overline{) 564}$ | $7 \overline{) 674}$ |
| $5 \overline{) 837}$ | $2 \overline{) 886}$ | $8 \overline{) 168}$ | $4 \overline{) 357}$ | $3 \overline{) 745}$ | $6 \overline{) 906}$ |
| $7 \overline{) 644}$ | $5 \overline{) 305}$ | $3 \overline{) 587}$ | $9 \overline{) 994}$ | $6 \overline{) 444}$ | $8 \overline{) 597}$ |
| $2 \overline{) 862}$ | $8 \overline{) 911}$ | $3 \overline{) 106}$ | $5 \overline{) 413}$ | $3 \overline{) 609}$ | $4 \overline{) 745}$ |



◎簡単な(2位数)÷(1位数)を暗算で計算することができる。

|           |    |               |    |     |   |
|-----------|----|---------------|----|-----|---|
| <b>13</b> | 基本 | <b>わり算の筆算</b> | 暗算 | 学習日 | / |
|-----------|----|---------------|----|-----|---|

- 1 75円のテープを、3人で同じようにお金を出しあって買うことにしました。1人何円出せばよいですか。暗算でしてみましょう。(4点×4)



75円

- (1) 答えをもとめる式は、 $75 \div 3$  になります。
- (2) 10円玉は、 $7 \div 3 = 2$  あり  $1$  で、1人20円ずつになります。
- (3) 残りは15円だから、 $15 \div 3 = 5$  で、1人5円ずつになります。
- (4) 合わせると、 $20 + 5 = 25$  (円) になります。 答え〔 25 円 〕

- 2 お金を見て、次のわり算を暗算でしましょう。(4点×3)

(1)  $62 \div 2$

$30 + 1 = 31$  答え〔 31 〕

30円      2円 ÷ 2 = 1円

(2)  $85 \div 5$

$10 + 7 = 17$  答え〔 17 〕

10円      35円 ÷ 5 = 7円

(3)  $78 \div 3$

$20 + 6 = 26$  答え〔 26 〕

20円      18円 ÷ 3 = 6円

- 3 つぎのわり算をしましょう。(暗算でしましょう。) (2点×11)

- ①  $86 \div 2 = 43$       ②  $63 \div 3 = 21$       ③  $48 \div 4 = 12$
- 40+3      20+1      10+2
- ④  $96 \div 3 = 32$       ⑤  $84 \div 4 = 21$       ⑥  $77 \div 7 = 11$
- 30+2      20+1      10+1

- ⑦  $45 \div 3 = 15$       ⑧  $65 \div 5 = 13$       ⑨  $58 \div 2 = 29$
- 10+5      10+3      20+9

- ⑩  $96 \div 4 = 24$       ⑪  $78 \div 3 = 26$
- 20+4      20+6



- 4 84円の色紙を、4人で同じようにお金を出しあって買うことにしました。1人何円出せばよいですか。(計算は暗算でしましょう。)(10点)

(式)  $84(\text{円}) \div 4 = 21(\text{円})$

頭の中... (20+1=21) 暗算の考え方

答え〔 21円 〕

- 5 6こで72円のアメがあります。このアメ1このねだんは何円ですか。(計算は暗算でしましょう。)(10点)

(式)  $72(\text{円}) \div 6 = 12(\text{円})$

(10+2=12)

答え〔 12円 〕

- 6 長さが84cmのテープがあります。このテープを7cmずつに切ると、7cmのテープが何本できますか。(計算は暗算でしましょう。)(10点)

(式)  $84(\text{cm}) \div 7(\text{cm}) = 12$

(10+2=12)

答え〔 12本 〕

- 7 32mのクジラの体長は、2mのイルカの体長の何倍ですか。(計算は暗算でしましょう。)(10点)

(式)  $32(\text{m}) \div 2(\text{m}) = 16$

(10+6=16)

答え〔 16倍 〕

- 8 60本のえんぴつを、1人に4本ずつくばっていきます。何人にくばることができますか。(計算は暗算でしましょう。)(10点)

(式)  $60(\text{本}) \div 4(\text{本}) = 15$

(10+5=15)

答え〔 15人 〕

1 つぎのわり算をしましょう。(答えが何十・何百になる計算) H.23版より (2点×9)

- ①  $80 \div 2 = 40$       ②  $90 \div 3 = 30$       ③  $600 \div 6 = 100$   
 ④  $140 \div 7 = 20$       ⑤  $350 \div 5 = 70$       ⑥  $560 \div 7 = 80$   
 ⑦  $300 \div 5 = 60$       ⑧  $300 \div 6 = 50$       ⑨  $1200 \div 4 = 300$

2 次の計算を筆算でしましょう。(A-17~A-20の復習) (3点×8)

① 

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | 1 | 3 |
| 5 | 6 | 5 |
|   | 5 |   |
|   | 1 | 5 |
|   | 1 | 5 |
|   |   | 0 |

      ② 

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | 2 | 4 |
| 3 | 7 | 2 |
|   | 6 |   |
|   | 1 | 2 |
|   | 1 | 2 |
|   |   | 0 |

      ③ 

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | 1 | 3 |
| 7 | 9 | 1 |
|   | 7 |   |
|   | 2 | 1 |
|   | 2 | 1 |
|   |   | 0 |

      ④ 

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | 2 | 1 |
| 4 | 8 | 4 |
|   | 8 |   |
|   |   | 4 |
|   |   | 4 |
|   |   | 0 |

⑤ 

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | 2 | 8 |
| 2 | 5 | 7 |
|   | 4 |   |
|   | 1 | 7 |
|   | 1 | 6 |
|   |   | 1 |

      ⑥ 

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | 1 | 3 |
| 6 | 8 | 0 |
|   | 6 |   |
|   | 2 | 0 |
|   | 1 | 8 |
|   |   | 2 |

      ⑦ 

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | 1 | 8 |
| 3 | 5 | 5 |
|   | 3 |   |
|   | 2 | 5 |
|   | 2 | 4 |
|   |   | 1 |

      ⑧ 

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | 1 | 0 |
| 8 | 8 | 6 |
|   | 8 |   |
|   |   | 6 |
|   |   |   |
|   |   |   |

3 □にあてはまる数やことばをかきましょう。(A-17) (2点×6)

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | 4 | 7 |
| 2 | 9 | 4 |
|   | 8 |   |
|   | 1 | 4 |
|   | 1 | 4 |
|   |   | 0 |

- ①  $9 \div 2$  で、4をたてる。  
 ② 2に  $4$  をかけて8  
 ③ 9から8を  $ひいて$  1、4を  $おろす$ 。  
 ④  $14 \div 2$  で、7をたてる。  
 ⑤ 2に  $7$  をかけて14  
 ⑥ 14から14を  $ひいて$  0

4 次の計算を筆算でしましょう。(A-21~A-24の復習) (3点×8)

① 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   | 1 | 5 | 9 |
| 4 | 6 | 3 | 6 |
|   | 4 |   |   |
|   | 2 | 3 |   |
|   | 2 | 0 |   |
|   |   | 3 | 6 |
|   |   | 3 | 6 |
|   |   |   | 0 |

      ② 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   | 1 | 3 | 4 |
| 7 | 9 | 3 | 8 |
|   | 7 |   |   |
|   | 2 | 3 |   |
|   | 2 | 1 |   |
|   |   | 2 | 8 |
|   |   | 2 | 8 |
|   |   |   | 0 |

      ③ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   | 2 | 3 | 5 |
| 3 | 7 | 0 | 7 |
|   | 6 |   |   |
|   | 1 | 0 |   |
|   |   | 9 |   |
|   |   | 1 | 7 |
|   |   | 1 | 5 |
|   |   |   | 2 |

      ④ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   | 1 | 0 | 0 |
| 6 | 6 | 0 | 4 |
|   | 6 |   |   |
|   |   |   | 4 |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |

⑤ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   | 7 | 3 |
| 5 | 3 | 6 | 5 |
|   | 3 | 5 |   |
|   |   | 1 | 5 |
|   |   |   | 0 |
|   |   |   |   |

      ⑥ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   | 3 | 4 |
| 8 | 2 | 7 | 3 |
|   | 2 | 4 |   |
|   |   | 3 | 3 |
|   |   | 3 | 2 |
|   |   |   | 1 |
|   |   |   |   |

      ⑦ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   | 6 | 1 |
| 7 | 4 | 2 | 9 |
|   | 4 | 2 |   |
|   |   | 9 |   |
|   |   | 7 |   |
|   |   | 2 |   |
|   |   |   |   |

      ⑧ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   | 9 | 0 |
| 9 | 8 | 1 | 2 |
|   | 8 | 1 |   |
|   |   |   | 2 |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |

5  $83 \div 3$ の筆算の答えのたしかめをします。(A-19の復習) □にあてはまる数やことばをかきましょう。(4点×2)

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | 2 | 7 |
| 3 | 8 | 3 |
|   | 6 |   |
|   | 2 | 3 |
|   | 2 | 1 |
|   |   | 2 |

$3 \times 27 + 2 = 83$   
 わる数 × 商 + あまり = わられる数

6 商が2けたになるのは、□にどんな数をあてはめたときですか。(A-24) (7点×2)

(1)  $4 \overline{) \square 37}$       答え { 1, 2, 3 }  
 4を入れると、百の値が1になります。

(2)  $7 \overline{) \square 51}$       答え { 1, 2, 3, 4, 5, 6 }  
 7を入れると、百の値が1になります。

② 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深める。

|    |    |         |     |     |   |
|----|----|---------|-----|-----|---|
| 15 | 基本 | 一億をこえる数 | 億と兆 | 学習日 | / |
|----|----|---------|-----|-----|---|

1 数のしくみを考えて、空らんにかきましよう。(2点+3点×11)

1の10倍は10、10の10倍は100、100の10倍は1000となる仕組みと、1万の10倍は同じですね。  
 10倍すると、位が1つ上がります。

|              | 兆 | 億         | 万        | 一 |
|--------------|---|-----------|----------|---|
| ① 1の10000倍は  |   |           | 10000    |   |
| ② 1万の10倍は    |   |           | 100000   |   |
| ③ 10万の10倍は   |   |           | 1000000  |   |
| ④ 100万の10倍は  |   |           | 10000000 |   |
| ⑤ 1000万の10倍は |   | 100000000 |          |   |

⑥ 一億は一万の(10000)倍です。10倍すると右に0が1つ増えるではありません。

1万×1万=1億です。(1万)

|              | 兆             | 億            | 万 | 一 |
|--------------|---------------|--------------|---|---|
| ⑦ 1万の10000倍は |               | 100000000    |   |   |
| ⑧ 1億の10倍は    |               | 1000000000   |   |   |
| ⑨ 10億の10倍は   |               | 10000000000  |   |   |
| ⑩ 100億の10倍は  |               | 100000000000 |   |   |
| ⑪ 1000億の10倍は | 1000000000000 |              |   |   |

⑫ 一兆は一億の(10000)倍です。1億×1万=1兆です。(1万)

1万倍ごとに、万、億、兆...と新しい単位になります。(4桁ごと) (万進法)

2 次の数を位取りの表にかき入れて、よみましょう。(3点×5)

- 日本の人口: 125510000人 → いちごにせんごひゃくごじゅういっせん
- インドの人口: 1415653821人
- 中国の人口: 1412600000人
- 太陽と地球との距離: 149597870000m
- 1光年: 9460730472580000m



|   | 兆            | 億        | 万     | 一 |
|---|--------------|----------|-------|---|
| ① |              | 1255     | 10000 |   |
| ② |              | 141565   | 3821  |   |
| ③ |              | 14126    | 0000  |   |
| ④ |              | 14959787 | 0000  |   |
| ⑤ | 946073047258 | 0000     |       |   |

大きな数は、右から4けたごとに区切ると読みやすいよ。



③ 一億～千兆の位の数の位組を理解し、よみ方、書き方がわかる。

3 次の数をよんで、(例)にならって漢字でかきましよう。(5点×5)

(例) 日本の人口: 125510378人  
 [ 一億二千五百五十一万三百七十八人 ]

① イギリスの人口: 67530200人  
 [ 六千七百五十三万二百人 ]

② アメリカの人口: 332186407人  
 [ 三億三千二百十八万六千四百七人 ]

③ 世界の人口: 800456000人  
 [ 八十億四百五十六万六千人 ]

④ 太陽と地球との距離: 149597870000m  
 [ 千四百九十五億九千七百八十七万m ]

⑤ 1光年: 9460730472580000m  
 [ 九千四百六十兆七千三百四億七千二百五十八万m ]

4 次の数をよんで、(例)にならって数字でかきましよう。(5点×5)

(例) 五十六億五千六百三十五万  
 [ 5656350000 ]

① 二億八千万  
 [ 28000000 ]

② 六十七億三千五百八十九万  
 [ 6735890000 ]

③ 四兆七千六百億  
 [ 47600000000 ]

④ 六百三億四十二万  
 [ 60300420000 ]

⑤ 二兆八千億五十五万  
 [ 28000050000 ]



② 大きな数の加法的・相対的な見方と数系列を理解する。

|    |    |         |          |     |   |
|----|----|---------|----------|-----|---|
| 16 | 基本 | 一億をこえる数 | 大きな数のしくみ | 学習日 | / |
|----|----|---------|----------|-----|---|

1 4億5000万について、□にあてはまることばや数をかきましょう。(4点×3)

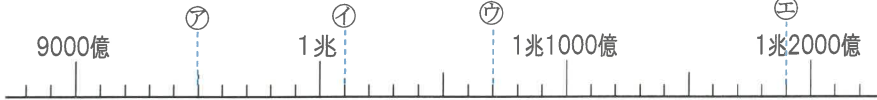
|   |   |      |      |
|---|---|------|------|
| 兆 | 億 | 万    | 一    |
|   | 4 | 5000 | 0000 |
|   | 一 | 千    | 百    |

左の位取りの表を見て考えよう。



- ① 1億を4に、1000万を5に、合わせた数です。
- ② 1000万を45に集めた数です。← 1000万の位を基準にすると、45に分になります。(1000万の位)
- ③ 4は一億の位の数字で、5は千万の位の数字です。

2 下の㉗・㉘・㉙・㉚にあたる数は いくつですか。(4点×4)



- ㉗ [ 9500億 ]      ㉘ [ 1兆100億 ]
- ㉙ [ 1兆700億 ]      ㉚ [ 1兆1900億 ]

10目もりが1000億だから、1目もりは100億になります。

3 数字を14こならべて14けたの数をつくり、読みを漢字でかきましょう。(10点)

(例)

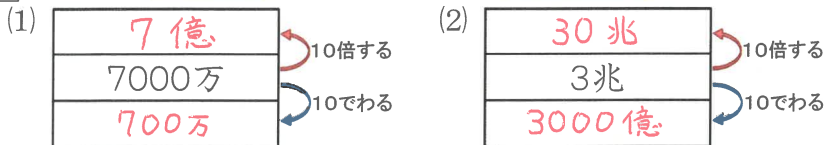
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 0 | 7 | 2 | 0 | 5 | 0 | 4 | 0 | 9 | 6 | 1 | 8 | 2 |
|   |   | 兆 |   |   | 億 |   |   |   | 万 |   |   |   |   |

読み [ 三十兆七千二百五億四百九万六千八百八十二 ]

どんな大きな数でも、0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の10この数字でかき表すことができます。

(十進位取り記数法) ← この名前が覚えなくていいですよ。

4 次の数を10倍した数はいくつですか。また、10でわった数はいくつですか。(3点×4)



どんな数でも、各位の数字は、10倍すると位が1つ上がり、10でわると位が1つ下がります。

5 □にあてはまる数をかきましょう。(3点×4)

- ① 1億を60に集めた数は 60億 です。
- ② 1億を73に集めた数は 73億 です。
- ③ 1000億を30に集めた数は 3兆 です。
- ④ 1000億を25に集めた数は 2兆5000億 です。

答えは、数字と漢字を使って表そう。

10こで1兆です。



わかりにくい入は左下のようにならう。

③ 30000億 → 3兆      ④ 25000億 → 2兆5000億

6 次の数を数字でかきましょう。位取りの表がなくても、数字でかけるように！(3点×4)

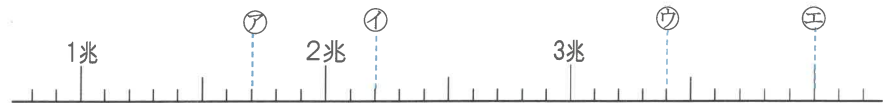
- ① 1億を3こ、100万を4こ合わせた数 [ 304000000 ]
- ② 10億を5こ、10万を9こ合わせた数 [ 500090000 ]
- ③ 1兆を2こ、1億を7こ合わせた数 [ 200070000000 ]
- ④ 1億を6こ、1万を48こ合わせた数 [ 600480000 ]

7 次の数を10倍した数を㉗に、10でわった数を㉘にかきましょう。(3点×6)

- (1) 4000万      ㉗ [ 4億 ]      ㉘ [ 400万 ]
- (2) 5000億      ㉗ [ 5兆 ]      ㉘ [ 500億 ]
- (3) 9兆      ㉗ [ 90兆 ]      ㉘ [ 9000億 ]

10目もりが1兆だから、1目もりは1000億になります。

8 下の㉗・㉘・㉙・㉚にあたる数はいくつですか。(2点×4)



- ㉗ [ 1兆7000億 ]      ㉘ [ 2兆2000億 ]
- ㉙ [ 3兆4000億 ]      ㉚ [ 4兆 ]

◎ X(2位数)の筆算の仕方をもとにして、(3位数)X(3位数)の筆算ができる。

**17** 基本 一億をこえる数 大きな数のかけ算 学習日 /

**1** つぎのかけ算を筆算でしましょう。(8点×2)

①  $365 \times 245$

②  $437 \times 604$

$$\begin{array}{r} 365 \\ \times 245 \\ \hline 1825 \dots\dots 365 \times 5 \\ 14600 \dots\dots 365 \times 40 \\ 73000 \dots\dots 365 \times 200 \\ \hline 89425 \end{array}$$

← 答え

$$\begin{array}{r} 437 \\ \times 604 \\ \hline 1748 \dots\dots 437 \times 4 \\ 0000 \dots\dots 437 \times 0 \\ 262200 \dots\dots 437 \times 600 \\ \hline 263948 \end{array}$$

← 答え

この列の0000を省いてもできます。

0 や00の所は、慣れてくると省いて計算しましょう。

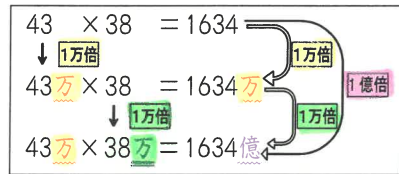
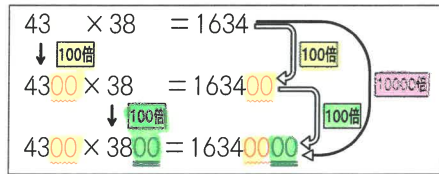
かけ算の答えを積といいます。

この部分も、慣れてくると省きましょう。

**2**  $43 \times 38 = 1634$  を使って、次の答えを求めましょう。(8点×2)

①  $4300 \times 3800$

②  $43万 \times 38万$



①  $4300 \times 3800 = 1634$  万

②  $43万 \times 38万 = 1634$  億

100 × 100 = 1万です。



1万 × 1万 = 1億です。

大切に覚えておきましょう。

**3** 次の計算を、筆算でくふうしてしましょう。(9点×2)

①  $4600 \times 380$

②  $5700 \times 2400$

$$\begin{array}{r} 4600 \\ \times 380 \\ \hline 3680 \\ 13800 \\ \hline 1748000 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5700 \\ \times 2400 \\ \hline 22800 \\ 114000 \\ \hline 13680000 \end{array}$$

**4** つぎのを計算をしましょう。(十の位をかけた時の0,百の位をかけた時の00は、省いています。)(3点×8)

①  $\begin{array}{r} 236 \\ \times 312 \\ \hline 472 \\ 2360 \\ 7080 \\ \hline 73632 \end{array}$

②  $\begin{array}{r} 462 \\ \times 527 \\ \hline 3234 \\ 9240 \\ 23100 \\ \hline 243474 \end{array}$

③  $\begin{array}{r} 726 \\ \times 493 \\ \hline 2178 \\ 65340 \\ 290400 \\ \hline 357918 \end{array}$

④  $\begin{array}{r} 87 \\ \times 296 \\ \hline 522 \\ 7830 \\ 17400 \\ \hline 25752 \end{array}$

(十の位の数「0」をかけた時の2段目の0000は省いています。)

⑤  $\begin{array}{r} 417 \\ \times 305 \\ \hline 2085 \\ 12510 \\ \hline 127185 \end{array}$

⑥  $\begin{array}{r} 624 \\ \times 408 \\ \hline 4992 \\ 24960 \\ \hline 254592 \end{array}$

⑦  $\begin{array}{r} 569 \\ \times 703 \\ \hline 1707 \\ 39830 \\ \hline 400007 \end{array}$

⑧  $\begin{array}{r} 708 \\ \times 609 \\ \hline 6372 \\ 42480 \\ \hline 431172 \end{array}$

**5**  $37 \times 26 = 962$  を使って、次の答えを求めましょう。(2点×8)

①  $3700 \times 2600 = 9620000$

②  $37万 \times 26 = 962万$

③  $37000 \times 26000 = 962000000$

④  $37万 \times 26万 = 962億$

⑤  $37億 \times 26 = 962億$

⑥  $37億 \times 26万 = 962兆$

⑦  $370 \times 26億 = 9620億$

⑧  $370万 \times 260万 = 9兆6200億$

(96200億 → 9兆6200億と考えましょう。)

⑥万をかける時、単位の位も1つ大きくなりますね。

**6** 遠足の費用を1人475円ずつあつめます。127人分では何円になりますか。(10点)

(式)  $475 \times 127 = 60325$  (円)

$$\begin{array}{r} 475 \\ \times 127 \\ \hline 3325 \\ 9500 \\ 47500 \\ \hline 60325 \end{array}$$

答え( 60325円 )

1 次の数をよんで、漢字でかきましょう。(3点×4)

- ① 4365700000                      ② 50800075000  
 [ 四十三億 六千五百七十万 ]    [ 五百八億 七万五千 ]
- ③ 2054000250000                  ④ 9001680700600  
 [ 二兆 五百四十億 二十五万 ]    [ 九兆 十六億 八千七十万 六百 ]

2 次の数をよんで、数字でかきましょう。(3点×4)

- ① 二億五千万                      ② 六百十億二千八百万  
 [ 2 5000 0000 ]                  [ 610 2800 0000 ]
- ③ 四兆七千四百億                  ④ 二十七兆八千二百五十億  
 [ 4 7400 0000 0000 ]              [ 27 8215 0000 0000 ]

3  にあてはまる数を数字でかきましょう。(3点×4)

- ① 1億を9こ、1万を82こ合わせた数 [ 9 0082 0000 ]
- ② 1億を30こ、1万を450こ合わせた数 [ 30 0450 0000 ]
- ③ 1000万を58こ集めた数 [ 5 8000 0000 ]  
1000万の位です。
- ④ 6000億を10倍した数 [ 6 0000 0000 0000 ]  
60000億 → 6兆です。

4  に不等号を入れて、数の大小を表しましょう。(3点×4)

- ① 1兆  9900億                      ② 25億  24兆
- ③ 3400億  34000000000億              ④ 4500億  4兆60万

5 次の数を10倍した数を㉞に、10でわった数を㉟にかきましょう。(3点×4)

- (1) 2000万    ㉞ [ 2億 ]                      ㉟ [ 200万 ]
- (2) 4兆            ㉞ [ 40兆 ]                      ㉟ [ 4000億 ]

6 下の㉞・㉟・㊱・㊲にあたる数はいくつですか。(2点×4)



- ㉞ [ 2億 ]                      ㉟ [ 13億 ]
- ㊱ [ 21億 ]                      ㊲ [ 29億 ]
- (1目もりは1億です。)

7 つぎのを計算をしましょう。(3点×4)

- ① 
$$\begin{array}{r} 537 \\ \times 264 \\ \hline 2148 \\ 3222 \\ 1074 \\ \hline 141768 \end{array}$$
- ② 
$$\begin{array}{r} 608 \\ \times 783 \\ \hline 1824 \\ 4864 \\ 4256 \\ \hline 476064 \end{array}$$
- ③ 
$$\begin{array}{r} 968 \\ \times 509 \\ \hline 8712 \\ 4840 \\ \hline 492712 \end{array}$$
- ④ 
$$\begin{array}{r} 8300 \\ \times 670 \\ \hline 581 \\ 498 \\ \hline 5561000 \end{array}$$

8  $46 + 28 = 74$  を使って、次の答えを求めましょう。(3点×2)

- ① 46億 + 28億 = 74億                      ② 4億6000万 + 2億8000万 = 7億4000万

9  $29 \times 34 = 986$  を使って、次の答えを求めましょう。(2点×4)

- ①  $2900 \times 3400 =$  9860000                      ②  $29万 \times 34万 =$  986億
- ③  $29 \times 34億 =$  986億                      ④  $29億 \times 34万 =$  986兆

10 0から9までの数字をそれぞれ1回ずつ使って、10けたの数をつくります。

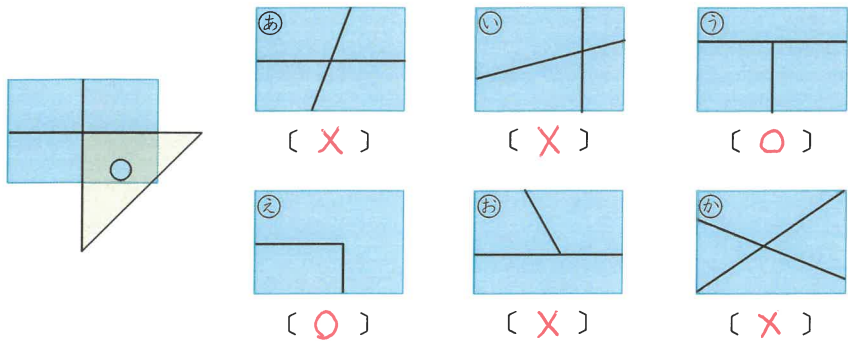
いちばん大きい数と2番目に大きい数を答えましょう。(3点×2)

- ① [ 9876543210 ]                      ② [ 9876543201 ]

① 2直線の交わり方を調べ、垂直の意味を理解する。

|    |    |           |         |     |   |
|----|----|-----------|---------|-----|---|
| 19 | 基本 | 垂直・平行と四角形 | 垂直と平行-1 | 学習日 | / |
|----|----|-----------|---------|-----|---|

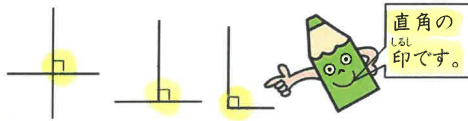
1 下のあ～かまでの図で、2つの直線が交わってできる角が直角のものには○、直角でないものには×をつけましょう。(三角定規を使って調べましょう。) (4点×6)



2つの直線が交わってできる

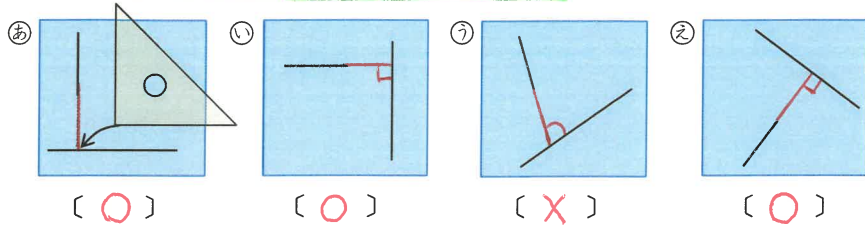
角が直角のとき、この2つの

直線は**垂直**であるといいます。

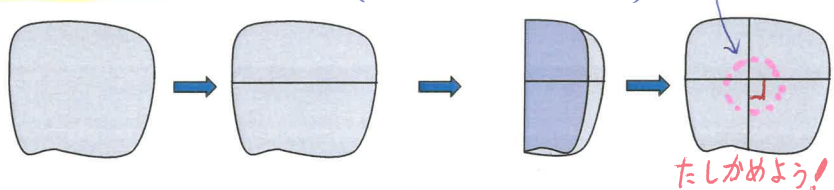


直角のしるし印です。

2 下のあ～えまでの図で、2つの直線が垂直であるものには○、垂直でないものには×をつけましょう。(直線をのばして調べましょう。) (4点×4)

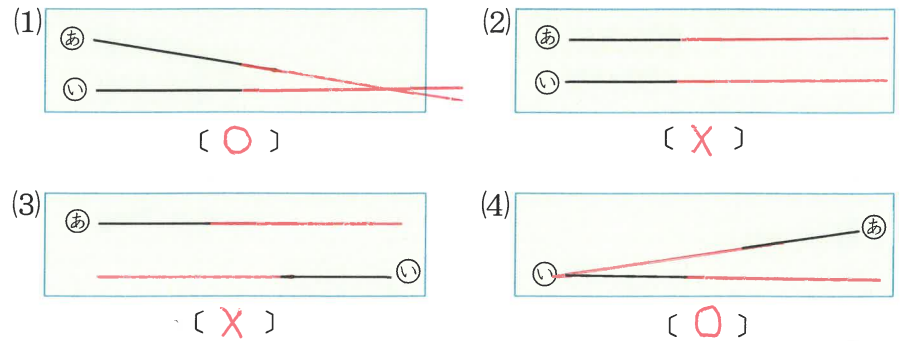


3 下の図のように紙を折って、垂直な直線をつくり、垂直に交わっていることをたしかめましょう。(紙でたしかめよう!) (10点)



② 2直線の交わり方を調べ、平行の意味を理解する。

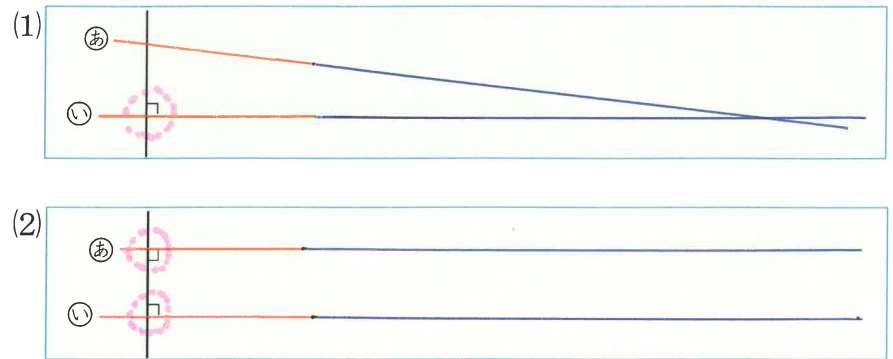
4 下の図で、直線あと直線いのはばすと交わりですか。交わるのものには○、交わらないものには×をつけましょう。(5点×4)



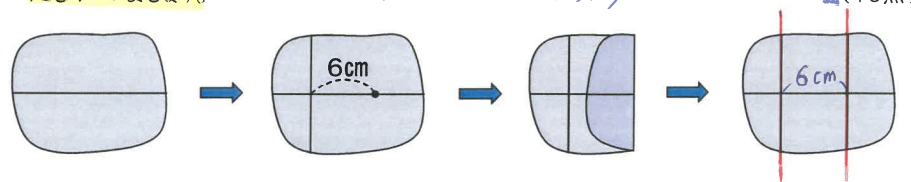
どこまでのばしても交わらない2つの直線は**平行**であるといいます。また、1つの直線に垂直な2つの直線は、必ず**平行**になります。



5 直線あと直線いをのばして、1つの直線に垂直な2つの直線が平行になることをたしかめましょう。(10点×2)



6 下の図のように紙を折って、はばが6cmの平行な直線をつくり、平行であることをたしかめましょう。(紙でたしかめよう!) (10点)

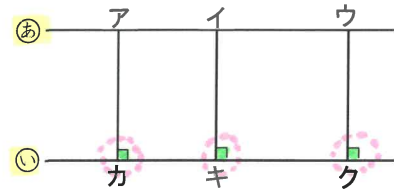


⑩ 平行な2直線の幅を調べ、平行についての理解を深める。

|    |    |           |         |     |   |
|----|----|-----------|---------|-----|---|
| 20 | 基本 | 垂直・平行と四角形 | 垂直と平行-2 | 学習日 | / |
|----|----|-----------|---------|-----|---|

1 下の図の直線㉔と直線㉕は平行です。直線アカ、直線イキ、直線ウクは、それぞれ直線㉕に垂直です。( )にあてはまることばを、下の□から選んで書きましょう。(4点×4)

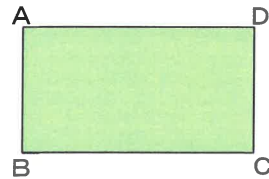
- (1) 直線アカ、直線イキ、直線ウクは、直線㉕にも(垂直に)なっています。
- (2) 直線アカ、直線イキ、直線ウクの長さは(同じに)なっています。
- (3) 平行な2つの直線の(はば)は、上の直線アカの長さで表します。これは、どこをはかっても(同じ)です。



平行・垂直に・はば・同じ・同じに

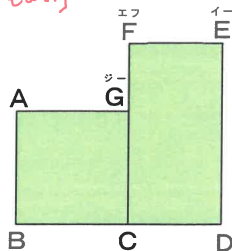
2 下の長方形で、垂直や平行になっている辺の組を見つけましょう。(3点×6)

- (1) 垂直になっている辺の組 [辺ADが辺DAのようになっているも可]  
 ( 辺ABと辺AD ), ( 辺ABと辺BC )  
 ( 辺DCと辺AD ), ( 辺DCと辺BC )
- (2) 平行になっている辺の組  
 ( 辺ABと辺DC ), ( 辺ADと辺BC )



3 下の図は、正方形と長方形を合わせた図です。(3点×6)

- (1) 直線FCに垂直な直線はどれですか。 [BDは、BC、CDでもよい]  
 ( 直線FE ), ( 直線AG ), ( 直線BD )
- (2) 直線FEに平行な直線はどれですか。 [BC、CDでもよい]  
 ( 直線AG ), ( 直線BD )
- (3) 点Eを通過して、直線ABに平行な直線はどれですか。  
 ( 直線ED )

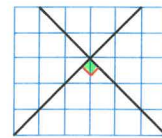
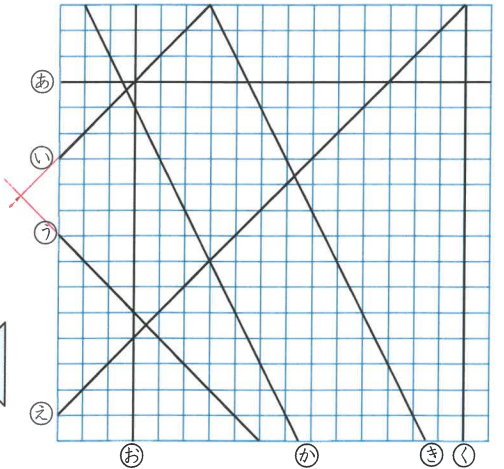


⑪ 三角定規や方眼を使って、垂直や平行になっている直線を調べる。

4 下の図で、垂直や平行になっている直線を調べます。(4点×7)

- (1) 垂直な直線はどれですか。  
 ( あ と お ) ( あ と く )  
 ( い と う ) ( え と う )
- (2) 平行な直線はどれですか。  
 ( い と え ) ( お と く )  
 ( か と き )

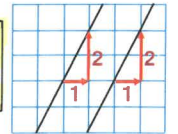
三角定規を使ってたしかめてみましょう。



こんなときも垂直になります。



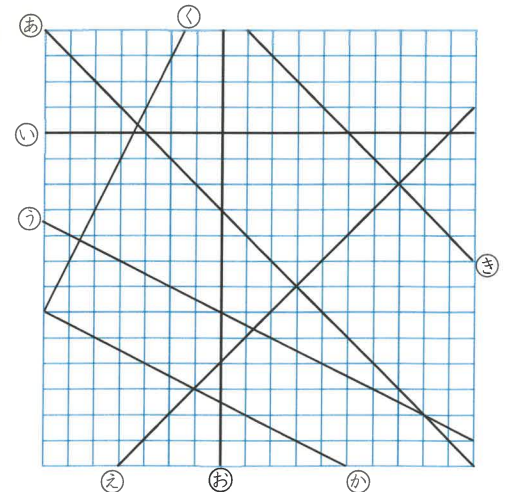
こんなときも平行になります。



※「記号で答えなさい」と書いてないので、あやきと答えると×になります。

5 下の図で、垂直や平行になっている直線を調べます。(5点×4)

- (1) 直線㉕に垂直な直線はどれですか。  
 このように答えよう。直線お
- (2) 直線㉔に平行な直線はどれですか。  
 [ 直線き ]
- (3) 直線㉔に垂直な直線はどれですか。すべて書きましょう。  
 [ 直線あ, 直線き ]
- (4) 直線㉕に垂直な直線はどれですか。すべて書きましょう。  
 [ 直線う, 直線か ]

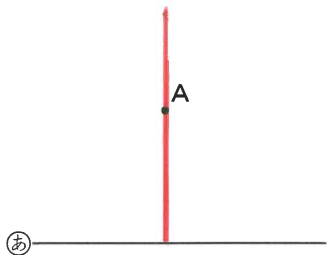
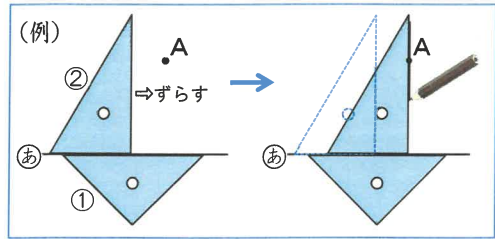


① 1組の三角定規を使って、垂直・平行な直線をかく。

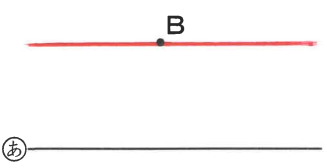
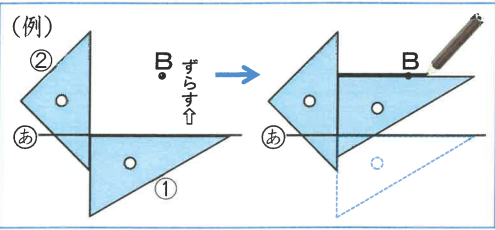
**21 基本** 垂直・平行と四角形 垂直や平行な直線のかき方 学習日 /

1 1組の三角定規を使って、(例)にならって、次の直線をかきましょう。(10点×2)

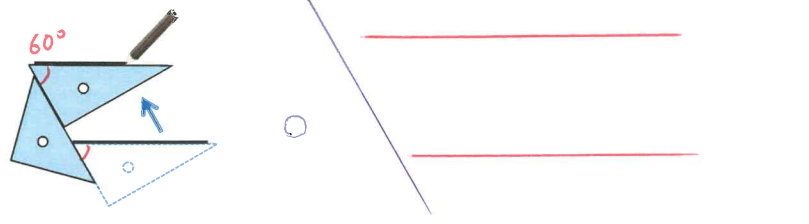
(1) 点Aを通して、直線㉑に垂直な直線



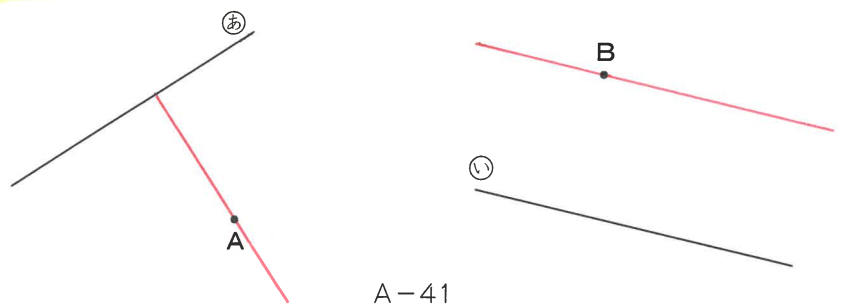
(2) 点Bを通して、直線㉑に平行な直線



2 三角定規の60°の角を使って、平行な直線をかきましょう。(10点)

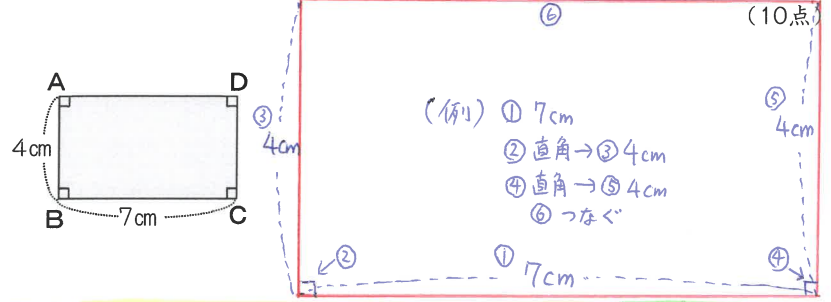


3 下の図で、点Aを通して直線㉑に垂直な直線と、点Bを通して直線㉒に平行な直線をかきましょう。(10点×2)

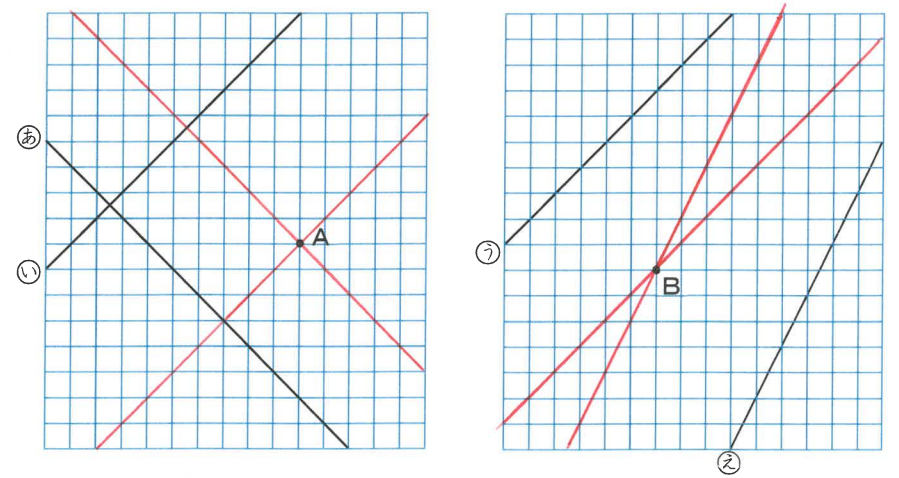


② 方眼紙上で2本の直線の垂直や平行な関係を見つけたり、かいたりする。

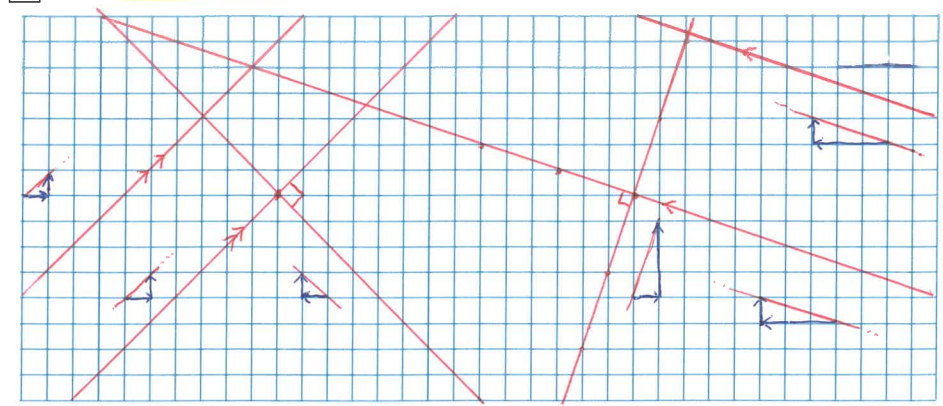
4 垂直や平行な直線のかき方を使って、たて4cm、横7cmの長方形をかきましょう。(10点)



5 下の図で、点Aを通して直線㉑や直線㉒に垂直な直線、点Bを通して直線㉑や直線㉒に平行な直線をかきましょう。(8点×4)



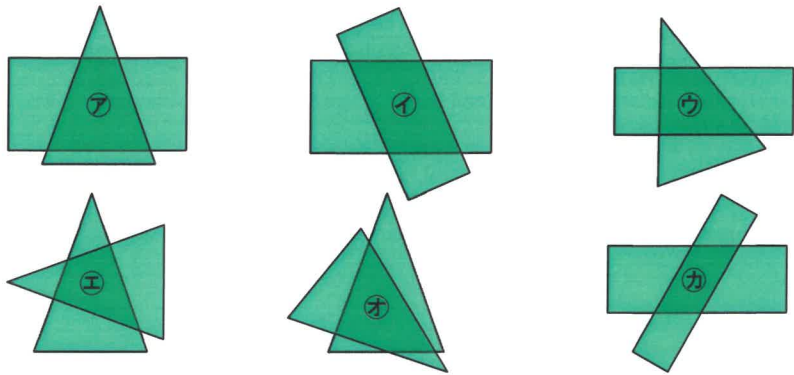
6 下の方がんを使って、垂直や平行な直線をいろいろかきましょう。(例) (8点)



② 台形と平行四辺形の定義と、その性質について理解する。

|           |    |           |       |     |   |
|-----------|----|-----------|-------|-----|---|
| <b>22</b> | 基本 | 垂直・平行と四角形 | 四角形-1 | 学習日 | / |
|-----------|----|-----------|-------|-----|---|

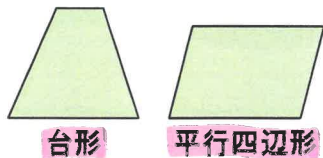
1 三角形や長方形を重ねてできる四角形を、**辺の平行に目をつけて**なかまに分けましょう。(8点×3)



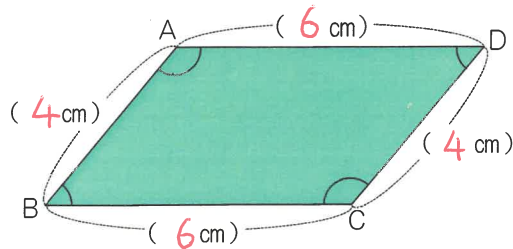
- (1) 1組の辺が平行な四角形 ..... [ ア, ウ ]
- (2) 2組の辺が平行な四角形 ..... [ イ, カ ]
- (3) 平行な辺の組がない四角形 ..... [ エ, オ ]

向かい合った1組の辺が平行な四角形を **台形** といいます。

向かい合った2組の辺がどちらも平行になっている四角形を **平行四辺形** といいます。

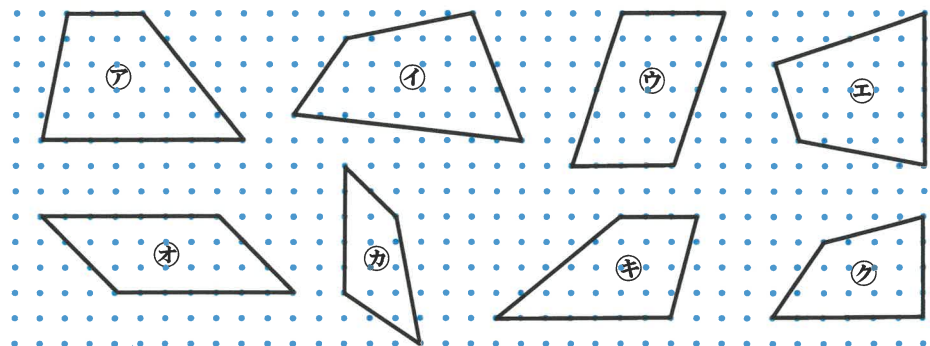


2 下の平行四辺形の、**向かい合った辺の長さ**と、**向かい合った角の大きさ**を調べましょう。(2点×8)



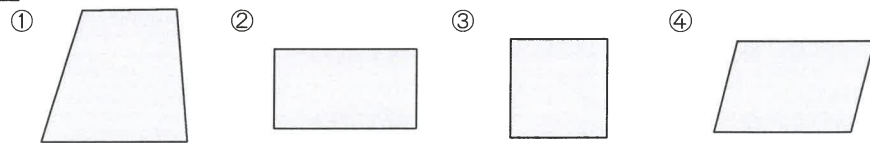
- 角A( 130° )
- 角B( 50° )
- 角C( 130° )
- 角D( 50° )

3 次の中から、**台形**と**平行四辺形**を見つけて( )に記号を書きましょう。(4点×4)



台形( ア, キ )      平行四辺形( ウ, オ )

4 次の四角形の名前を書きましょう。(4点×4)



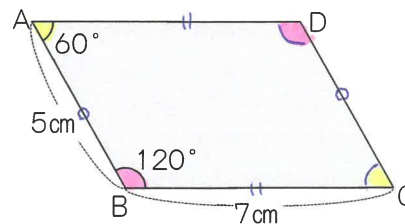
[ 台形 ] [ 長方形 ] [ 正方形 ] [ 平行四辺形 ]

5 ( )にあてはまることばを [ ] からえらんで書きましょう。(4点×4)

- (1) 向かい合った( 1組の辺 )が( 平行 )な四角形を台形といいます。
- (2) 向かい合った( 2組の辺 )がどちらも( 平行 )になっている四角形を平行四辺形といいます。

平行 ・ 平行 ・ 1組の辺 ・ 2組の辺

6 下の平行四辺形で、辺AD、辺CDの長さは何cmですか。また、角C、角Dの大きさは何度ですか。(図は小さくしてあります)(3点×4)



- 辺AD( 7 cm )
- 辺CD( 5 cm )
- 角C( 60° )
- 角D( 120° )